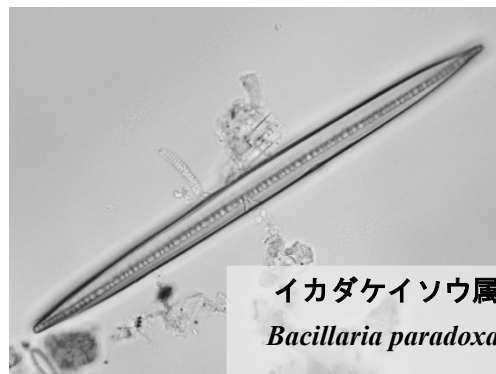


横浜の川と海の生物

(第 14 報・河川編)

概要版



平成 28 (2016) 年 3 月

横浜市環境科学研究所

目次

1. 調査概要-----	1
図1 調査地点-----	2
2. 調査結果（水系別まとめ）-----	3
図2 横浜市内河川の水生生物による水質評価結果(2014 年度冬季)-----	16
図3 横浜市内河川の水生生物による水質評価結果(2015 年度夏季)-----	16
3. 各水系における調査結果概要-----	17
4. 各区における結果-----	20
4.1 区別集計結果-----	20
4.2 各区における結果概要-----	28
青葉区で確認された水生生物-----	29
旭区で確認された水生生物-----	30
泉区で確認された水生生物-----	31
磯子区で確認された水生生物-----	32
金沢区で確認された水生生物-----	33
港南区で確認された水生生物-----	34
港北区で確認された水生生物-----	35
栄区で確認された水生生物-----	36
瀬谷区で確認された水生生物-----	37
都筑区で確認された水生生物-----	38
鶴見区で確認された水生生物-----	39
戸塚区で確認された水生生物-----	40
保土ヶ谷区で確認された水生生物-----	41
緑区で確認された水生生物-----	42
南区で確認された水生生物-----	43

表紙写真の説明

オイカワ <i>Zacco platypus</i> 鶴見川水系鶴見川 落合橋 2015年9月1日	ミズキンバイ <i>Ludwigia peploides</i> subsp. <i>stipulacea</i> 境川水系柏尾川 栄第二水再生センター下流 2015年8月19日
チチュウカイミドリガニ <i>Carcinus mediterraneus</i> 侍従川水系侍従川 六浦二号橋 2015年8月4日	イカダケイソウ属 <i>Bacillaria paradoxa</i> 境川水系子易川 岡津 2015年1月7日

1. 調査概要

横浜市は、市内を流れる河川の6水系（鶴見川、帷子川、大岡川、境川、宮川、侍従川）について3～4年に1度の頻度で、魚類、底生動物、水草、付着藻類、水質などの調査を実施し、生物の生息状況を調べるとともに、生物指標を用いて水質評価を行っています。近年、下水道の普及に伴い、横浜市内を流れる河川の水質はかなり改善されてきており、生息する水生生物も以前に比べると多様になってきています。

この概要版では、2014年度、2015年度に実施した調査結果をまとめました。

【 調査内容 】

横浜市内を流れる6水系41地点で、水生生物の調査を冬季（2014年12月～2015年2月）と夏季（2015年8月～10月）に行いました。調査対象とした水生生物は、魚類、底生動物（エビ、カニ、貝類、水生昆虫など）、沈水植物およびオランダガラシ（以下、水草※と表記）、付着藻類（藍藻、珪藻、緑藻など）です。また近年、沈水植物以外の水辺植物でも外来種が見られることから、その実態を把握するため、抽水植物についても調査を実施しました。

【 調査結果概要 】

魚類は54種（3品種を含む）、底生動物は204種、水草は8種、抽水植物は19種、付着藻類は154種が確認されました。このうちレッドリスト等掲載種は35種（魚類20種、底生動物10種、水草1種、抽水植物1種、付着藻類3種）、外来種は44種（魚類17種、底生動物18種、水草4種、抽水植物5種）でした。

水生生物から水質を評価すると、2014年度冬季は41地点のうち「大変きれい」が27地点、「きれい」が10地点、「やや汚れている」が1地点、「汚れている」が2地点、「評価できない」が1地点でした。2015年度夏季は「大変きれい」が26地点、「きれい」が13地点、「やや汚れている」が0地点、「汚れている」が2地点、「評価できない」が0地点でした。

レッドリスト等掲載種

レッドリスト等掲載種は、環境省の改訂レッドリスト（2015）（環境省RL）と神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006（神奈川県RDB）に掲載されている種としました。

貴重性の高い方から、絶滅危惧Ⅰ類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧、減少種、希少種、要注意種、注目種などにカテゴリ分けされています。環境省と神奈川県では、カテゴリの分け方に多少の違いがあります。

外来種

ここでいう外来種は、国外外来種（国外から持ち込まれた生物）、国内外来種（国内の他地域から持ち込まれた生物）、および品種を含みます。

法的な規制については、「特定外来生物による生態系等に関わる被害の防止に関する法律」（以下、「外来生物法」と省略）に基づき「特定外来生物」が指定され、飼養・栽培・保管・運搬等が禁止されています。そのほかに、外来種対策の進展を図ることを目的に、環境省及び農林水産省が、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下、「生態系被害防止外来種リスト」と表記）を公表しています。

※横浜市はこれまで、沈水植物と指標種であるオランダガラシ（抽水植物）を対象として水草の調査を行ってきたため、今回もこれらを「水草」として表記しました。



図1 調査地点（流域は概略）

2. 調査結果（水系別まとめ）

〔 魚類 〕

魚類は 51 種 3 品種の合計 54 種が確認されました。鶴見川水系・境川水系などの大きな河川で多くの種が確認されました。鶴見川水系が 39 種で最も多く、次いで境川水系の 35 種でした。

表 1 確認された魚類

No	科名	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
1	ウナギ科	ニホンウナギ	●			●		
2	コイ科	コイ	●	●	●	●		
3		イロゴイ	●			●		
4		キンギョ			●			
5		ギンブナ	●	●		●		
6		オイカワ	●	●	●	●		
7		カワムツ	●			●		
8		アブラハヤ	●		●	●		
9		タカハヤ			●			
-			アブラハヤ属(幼魚)			●		
10			ファットヘッドミノー	●				
11			マルタ	●	●	●	●	●
12			ウグイ	●	●		●	
13			モツゴ	●	●		●	●
14			タモロコ	●	●		●	
15			カマツカ	●				
16			イトモロコ	●				
17			スゴモロコ類	●				
18	ドジョウ科	ドジョウ		●	●	●	●	
19		カラドジョウ	●					
20		ヒガシシマドジョウ	●	●	●			
21		ホトケドジョウ	●	●	●	●		
22	ギギ科	ギバチ		●				
23	ナマズ科	ナマズ	●		●	●		
24	アユ科	アユ	●	●	●	●		
25	カダヤシ科	カダヤシ	●			●	●	
26		グッピー				●		
27	メダカ科	ミナミメダカ	●	●	●	●	●	
28		ヒメダカ	●			●		
29	ダツ科	ダツ				●		
30	サンフィッシュ科	ブルーギル	●					
31		オオクチバス	●			●		
32	アジ科	イケカツオ				●		
33	タイ科	クロダイ	●					
34	ボラ科	ボラ	●	●	●	●	●	●
35	カワアナゴ科	カワアナゴ				●		
36	ハゼ科	ボウズハゼ				●		
37		ミズハゼ				●		
38		ドロメ			●			
39		スミウキゴリ	●	●	●	●	●	●
40		ウキゴリ	●	●	●			
41		ビリンゴ	●	●	●		●	●
42		ウロハゼ					●	●
43		マハゼ	●	●	●	●	●	●
44		アシシロハゼ				●		
45		ヒナハゼ	●		●	●		●
46		アベハゼ	●		●			●
47		カワヨシノボリ	●					
48		シマヨシノボリ		●	●	●		
49		オオヨシノボリ				●		
50		ゴクラクハゼ		●		●		
51		クロダハゼ	●	●				
52		トウヨシノボリ類	●	●	●	●		
53		ヌマチチブ	●	●	●	●		
54	チチブ	●		●		●	●	
種 数			39	23	24	35	11	8
調査地点数(計 41 地点)			12	4	7	13	2	3

※大岡川に生息するアブラハヤとタカハヤの幼魚は区別が困難なので、アブラハヤ属としています。そのため確認種としてのアブラハヤ属は、種類数に加えていません。網掛は、本調査での初記録種を示しています。

①レッドリスト等掲載種

レッドリスト等掲載種は20種でした。水系別では境川水系が15種と最も多く、次いで鶴見川水系の12種でした。相模湾に流入する境川水系は、レッドリスト等掲載種の中でもカワアナゴやボウズハゼなどの回遊性の種類が多く確認されました。

横浜市内では、タカハヤ、ギバチおよびナマズは国内他地域からの放流由来の個体であると考えられるため、国内外来種としました。またコイは放流由来の個体が多くを占め、メダカも放流由来の個体の割合が高いと考えられます。



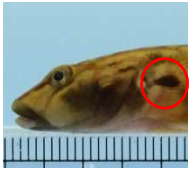
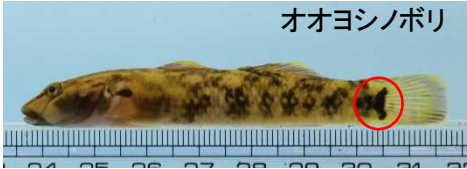

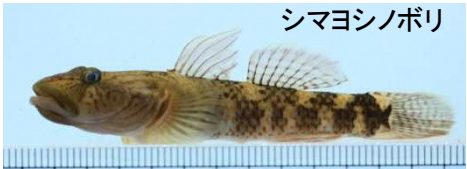
表2 魚類レッドリスト等掲載種

環境省 RL	神奈川県 RDB	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	備考
絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類	ホトケドジョウ	●	●	●	●			
絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧ⅠA類	ギバチ		●					国内外来種
		ミナミメダカ	●	●	●	●	●		放流由来の個体を含む可能性
絶滅危惧ⅠB類	—	ニホンウナギ	●			●			
—	絶滅危惧ⅠB類	タカハヤ			●				国内外来種
		カワアナゴ				●			
	絶滅危惧Ⅱ類	マルタ	●	●	●	●	●		
		準絶滅危惧	アブラハヤ	●		●	●		
			ウグイ	●	●		●		
			カマツカ	●					
		ヒガシマトシヨウ	●	●	●				
		ボウズハゼ				●			
		スミウキゴリ	●	●	●	●	●	●	
	ゴクラクハゼ		●		●	●			
	オオヨシノボリ				●				
注目種	ナマズ	●		●	●			国内外来種	
	ウロハゼ					●	●		
情報不足	—	ドジョウ	●	●	●	●	●		
—	情報不足	コイ	●	●	●	●			放流由来の個体を含む可能性
		ミズハゼ				●			
種数			12	10	10	15	5	2	

注) レッドリスト等掲載種のカテゴリーは表21参照のこと

コラム1 横浜市内で見られるヨシノボリ類(1)

ヨシノボリ類は、頭部と胸びれの模様と尾柄(尾びれの前の部分)の模様で区別できます。ヨシノボリ類の多くは川で産卵し、稚魚は海に下ったあと少し成長して川に上がってきます。

		ゴクラクハゼ 体側にルリ色の模様が目立ちます。帷子川と境川で確認されました。感潮域(潮の満ち引きがあるところ)に生息し、それより上流にはあまり遡上しません。
		オオヨシノボリ 胸びれ基部の背側に太い点があり、尾柄に太くて棒状の黒い模様があるのが特徴です。境川で確認されました。流れが速い瀬の礫底に生息しています。
		シマヨシノボリ 頬にミズが這ったような縞模様のあるのが特徴です。帷子川、大岡川、境川で確認されました。流れがある瀬の礫底に生息しています。

②外来種

外来種は17種で、いずれも純淡水魚（一生を川で生活する魚）でした。これは確認種54種の約3割、純淡水魚29種の約6割に相当します。つまり純淡水魚のうち半分以上の種が人為的に持ち込まれていることになります。

このうち海外から持ち込まれた外来種（国外外来種）は6種であり、外来生物法で「特定外来生物」に指定されている種が3種、生態系被害防止外来種リストの「その他の総合対策外来種」は2種、その他1種です。国内他地域からの移入種（国内外来種）は8種、観賞用に改良された品種は3種確認されました。

水系別では鶴見川水系が13種と最も多く、次いで境川水系が8種でした。

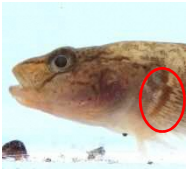

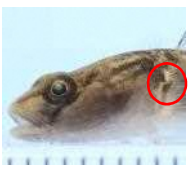
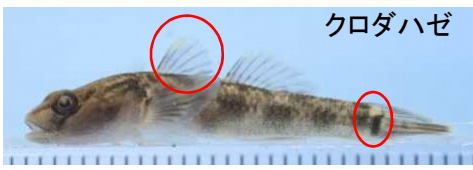
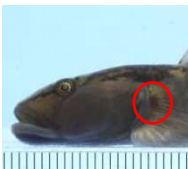
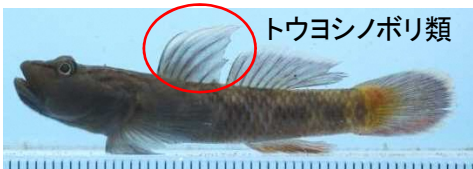
表3 魚類の外来種（国外外来種・国内外来種・品種）

外来生物法	生態系被害防止外来種リスト	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
国外外来種	特定外来生物	ブルーギル	●					
		オオクチバス	●			●		
		カダヤシ	●			●	●	
	—	その他の総合対策外来種	カラドジョウ	●				
		その他の総合対策外来種	グッピー				●	
—	—	フットヘッドミノ	●					
国内外来種	—	カワムツ	●			●		
		タカハヤ			●			
		タモロコ	●	●		●		
		イトモロコ	●					
		スゴモロコ類	●					
		ギバチ		●				
		ナマズ	●		●	●		
		カワヨシノボリ	●					
品種	—	イロゴイ	●			●		
		キンギョ			●			
		ヒメダカ	●			●		
種数			13	2	3	8	1	0

注) 外来種の 카테고리等は表22参照のこと

コラム2 横浜市内で見られるヨシノボリ類(2)

カワヨシノボリとクロダハゼ、トウヨシノボリ類のように河川の淡水域で一生を過ごす種もあります。

		カワヨシノボリ 胸びれの基部に「ノ」の字があり、胸びれの条数が少なく、一見すると胸鰭が透き通って見えます。鶴見川で確認されました。国内外来種です。
		クロダハゼ 胸びれ基部の背側に小さい黒い点があり、尾柄の様子は太長くなりません。雄でも第1背びれが長く伸びません。鶴見川、帷子川で確認されました。
		トウヨシノボリ類 クロダハゼによく似ていますが、雄の背びれが長く伸びます。複数のタイプがみられるので、クロダハゼを含めて今後検討が必要です。鶴見川、帷子川、大岡川、境川で確認されました。

[底生動物]

底生動物は 204 種が確認されました。流程が長くて調査地点が多い境川水系が 151 種と多く、次いで大岡川水系が 126 種、鶴見川水系が 116 種でした。

表 4-1 確認された底生動物（水系別）

No.	綱名	目名	科名	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	富川	侍従川					
1	普通海綿	ザラカイメン目	タンスイカイメン科	タンスイカイメン科	●			●							
2	渦虫綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ	ナミウズムシ		●	●	●	●	●					
3				アメリカツノウズムシ	●	●	●	●							
4				アメリカナミウズムシ	●	●	●	●							
5				エビヤドリツノムシ	●		●								
6				有針綱	ハリヒモムシ目	マミズヒモムシ科	マミズヒモムシ科		●	●					
7	花虫綱	イソギンチャク目	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク			●								
8	腹足綱	カサガイ目	ユキノカサガイ科	コウダカアオガイ					●						
9				盤足目	タニシ科	マルタニシ	●								
10						ヒメタニシ	●			●					
11				カワニナ科	カワニナ	●	●	●	●	●	●				
12				ウミニナ科	ホソウミニナ							●			
13				タマキビ科	タマキビガイ			●			●				
14				ミズツボ科	コモチカワツボ	●		●	●	●	●	●			
15				カワザンショウガイ科	ウスイロオカチグサ			●	●	●	●				
16				基眼目	カワロザラガイ科	カワロザラガイ			●	●	●				
17					モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ		●	●	●	●				
18					モノアラガイ科	モノアラガイ科	●	●	●	●	●	●			
19					サカマキガイ科	サカマキガイ	●	●	●	●	●	●	●		
20					ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ	●	●	●	●	●	●			
21					インドヒラマキガイ	●			●						
22				二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	ムラサキイガイ			●					
23							コウロエンカワヒバリガイ			●			●	●	
24							カワホトトギス科	イガイタマシ	●		●				
25							カキ目	イタボガキ科	マガキ			●		●	●
26				マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	●	●	●	●					
27						ヤマトシジミ	●								
28						マシジミ					●				
29	マメシジミ科	マメシジミ属	●				●	●			●				
30	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科			ヤマトカワゴカイ	●		●	●	●	●			
31	イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ	●		●		●							
32	ケヤリムシ目	カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシゴカイ			●									
33	貧毛綱	イトミミズ目	ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	●	●	●	●							
34				エラムミズ	●		●	●	●						
35				ミズミミズ亜科	●	●	●	●	●	●					
36				イトミミズ亜科	●	●	●	●	●	●	●				
37	ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ハバヒロビル				●							
38				ヌマビル	●			●							
39				アタマビル	●			●							
40	吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル	●	●	●	●								
41			ピロウドイシビル	●	●	●	●								
42	軟甲綱	フジツボ目	フジツボ科	シロスジフジツボ			●								
43				アメリカフジツボ			●		●	●					
44				ヨーロッパフジツボ	●										
45				ワラジムシ目	コツブムシ科	イソコツブムシ属			●		●				
46	ミズムシ科	ミズムシ	●	●	●	●	●	●	●						
47	ヨコエビ目	ドロクダムシ科	ドロクダムシ属	●		●	●	●	●	●					
48		ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ			●		●	●	●					
49		マミズコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	●	●	●	●								
50		キタヨコエビ科	アゴトゲヨコエビ				●		●						
51		メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属	●					●						
52		エビ目	ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	●	●	●	●							
53	ヤマトヌマエビ							●							
54	カワリヌマエビ属			●	●			●		●					
55	ヌマエビ										●				
56	ヌカエビ					●	●	●	●	●					
57	テナガエビ科			シラタエビ			●								
58	ミナミテナガエビ						●								
59	ヒラテナガエビ						●								
60	テナガエビ		●				●								
61	ユビナガスジエビ					●			●	●					
62	スジエビ		●	●			●								
63	スジエビモドキ								●	●					
64	<i>Palaemonetes sinensis</i>		●												
65	アメリカザリガニ科		アメリカザリガニ	●	●	●	●	●	●	●					
66	ワタリガニ科		チチュウカイミドリガニ						●	●					

表4-2 確認された底生動物（水系別）

No.	綱名	目名	科名	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川			
67	軟甲綱	エビ目	サワガニ科	サワガニ			●	●		●			
68			コメツキガニ科	チゴガニ				●		●			
69			ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	●								
70			モクズガニ科	モクズガニ	●	●			●				
71	昆虫綱	カゲロウ目	ヒメフタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ			●	●					
72			コカゲロウ科	ミツオミジカオフトバコカゲロウ	●	●		●					
73				ミジカオフトバコカゲロウ	●	●		●					
74				ヨシノコカゲロウ			●	●	●	●			
75				フタバコカゲロウ		●			●				
76				サホコカゲロウ	●	●	●	●	●				
77				フタモンコカゲロウ	●	●	●	●	●			●	
78				シロハラコカゲロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	
79				Dコカゲロウ						●			
80				フタバカゲロウ属	●	●	●						
81				ウスイロフトヒゲコカゲロウ	●	●	●	●	●				
82				ヒメウスバコカゲロウ属					●	●			
83				ウデマガリコカゲロウ	●	●	●	●	●				
84				ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	●		●	●				
85					エルモンヒラタカゲロウ					●			
86			フタオカゲロウ科	オオフトオカゲロウ				●					
87			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ				●	●		●		
88			マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	●		●	●	●		●		
89				エラブタマダラカゲロウ	●	●			●				
90			ヒメシロカゲロウ科	ヒメシロカゲロウ属				●	●				
91			トンボ目	イトトンボ科	アジアイトンボ	●		●	●				
92					カワトンボ科	ハグロトンボ	●	●	●	●			
93						ニホンカワトンボ	●						
94				アサヒナカワトンボ					●	●	●	●	
95				サナエトンボ科	ヤマサナエ	●	●	●	●	●		●	
96					ダビドサナエ				●	●		●	
97					オナガサナエ	●				●			
98					コオニヤンマ	●		●	●	●			
99				ヤンマ科	コシボソヤンマ				●	●	●	●	
100					ミルンヤンマ				●	●	●	●	
101				オニヤンマ科	オニヤンマ	●	●	●	●				
102				ヤマトンボ科	コヤマトンボ	●		●	●				
103				トンボ科	シオカラトンボ	●	●	●	●				
104					オオシオカラトンボ				●				
105	ウスバキトンボ					●							
106	コシアキトンボ	●					●						
107	カワゲラ目	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科				●						
108			オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属			●	●		●			
109		オナシカワゲラ属	●	●			●	●	●				
110		カワゲラ科	ヤマトフタツメカワゲラ				●	●	●	●			
111	カメムシ目	アメンボ科	オオアメンボ				●						
112			アメンボ	●	●	●	●	●	●	●			
113			シマアメンボ	●		●	●	●	●	●			
114		ミズムシ科	チビミズムシ属						●				
115	タイコウチ科	タイコウチ	●										
116	ヘビトンボ目	センブリ科	センブリ属			●	●	●	●				
117		ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ				●	●	●	●			
118			ヘビトンボ					●	●				
119	トビケラ目	カワトビケラ科	コタニガワトビケラ属				●						
120		シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	●	●	●	●			●			
121			ナミコガタシマトビケラ	●		●	●	●	●	●			
122			ウルマーシマトビケラ	●	●	●	●	●	●	●	●		
123			クダトビケラ科	クダトビケラ属	●	●			●				
124		ムネカクトビケラ科	ムネカクトビケラ					●					
125		ナガレトビケラ科	キヨスミナガレトビケラ					●		●			
126		ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属	●	●	●	●	●	●				
127		コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属		●	●	●	●	●				
128		アシエダトビケラ科	コバントビケラ				●						
129		ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	●	●								
130		カタツムリトビケラ科	カタツムリトビケラ								●		
131		カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属	●	●	●	●	●	●	●			
132		ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ属	●		●	●						
133			クサツミトビケラ属					●					
134		エグリトビケラ科	セグロトビケラ	●									
135		カクスイロトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ							●			
136	ケトビケラ科	グマガトビケラ属				●	●	●	●				
137	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ				●		●	●			
138			ゲンゴロウ科(幼虫)					●			●		

表 4-3 確認された底生動物（水系別）

No.	綱名	目名	科名	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川			
139	昆虫綱	コウチュウ目	ガムシ科	ガムシ科 (幼虫)	●								
140			ホタル科	ゲンジボタル (幼虫)	●		●	●	●	●			
141			ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ属	●		●	●	●	●			
142				クシヒゲマルヒラタドロムシ					●				
143				ヒメドロムシ科	ヒメツヤドロムシ					●			
144					ヒメドロムシ科 (幼虫)			●	●	●			
145			ハエ目	ガガンボ科	ウスバガガンボ属		●	●	●	●			
146					Dicranota 属				●	●			
147					Erioptera 属		●						
148					ヒゲナガガガンボ属					●	●		
149					カスリヒメガガンボ属								●
150					Limonia 属								●
151					Ormosia 属								●
152					ダイミョウガガンボ属						●		
153	Yamatotipula 亜属				●	●	●	●	●	●	●		
154	Nippotipula 亜属				●	●	●	●	●	●	●		
155	ガガンボ科				●						●		
156	チョウバエ科	ナガレチョウバエ属							●				
157		チョウバエ属				●	●	●	●		●		
158		オオケチョウバエ属				●	●	●				●	
159	ホソカ科	ホソカ属				●			●	●			
160	ブユ科	ツノマユブユ属				●	●	●	●	●	●		
161		アシマダラブユ属				●		●	●	●			
162	ユスリカバエ科	ユスリカバエ科							●	●	●		
163	ヌカカ科	Bezzia 属				●			●		●		
164	ユスリカ科	ボカシズマユスリカ属				●	●	●	●	●	●		
165		ヤマトヒメユスリカ族				●	●	●	●	●	●	●	
166		サワユスリカ属				●	●	●	●	●			
167		ケブカエリユスリカ属				●	●	●	●	●		●	
168		ハダカユスリカ属				●	●	●	●	●			
169		コナユスリカ属						●	●				
170		ツヤユスリカ属				●	●	●	●				
171		エラノリユスリカ属							●				
172		テンマクエリユスリカ属				●			●				
173		キリカキケバネエリユスリカ属							●	●		●	
174		ムナトゲエリユスリカ属				●	●			●			
175		コガタエリユスリカ属				●							
176		エリユスリカ属				●	●	●	●	●			
177		ニセトゲアシエリユスリカ属							●	●			
178		ニセナガレツヤユスリカ属				●	●	●	●	●		●	
179		ニセケバネエリユスリカ属				●	●	●	●	●		●	
180		クロツヤエリユスリカ属				●	●			●			
181		ナガレツヤユスリカ属				●	●	●	●	●			
182		ムナクボエリユスリカ属				●				●			
183		ヌカユスリカ属				●	●	●	●	●			
184		トクナガエリユスリカ属				●			●	●			
185		セスジユスリカ				●	●	●	●	●		●	
186		ユスリカ属				●	●	●	●	●	●	●	
187		カマガタユスリカ属				●	●	●	●	●		●	
188		スジカマガタユスリカ属					●			●			
189		ホソミユスリカ属				●	●			●			
190		ミズクサユスリカ属				●							
191		セボリユスリカ属				●				●			
192		ナガスネユスリカ属							●	●		●	
193		ツヤムネユスリカ属				●			●	●		●	
194		カワリユスリカ属				●	●	●	●	●		●	
195		ハモンユスリカ属				●	●	●	●	●	●	●	
196		ナガレユスリカ属				●	●	●	●	●			
197		アシマダラユスリカ属								●			
198		ヒゲユスリカ属				●	●	●	●	●			
199		ナガレアブ科			コモンナガレアブ		●			●			
200					サツマモンナガレアブ		●		●	●	●		
201		ミズアブ科			ミズアブ科			●		●			
202		オドリバエ科			オドリバエ科			●		●			
203		アシナガバエ科			アシナガバエ科					●			
204		ミギワバエ科			ミギワバエ科					●			
種数					116	75	126	151	58	70			
調査地点数 (計 41 地点)					12	4	7	13	2	3			

① レッドリスト等掲載種

レッドリスト等掲載種は10種で、貝類が4種、トンボ類が5種とアメンボ類1種でした。

表5 確認されたレッドリスト等掲載種

環境省 RL	神奈川県 RDB	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
絶滅危惧Ⅱ類		マルタニシ	●					
		マジジミ				●		
準絶滅危惧	—	ヤマトシジミ	●					
情報不足		ヒラマキミズマイマイ	●	●		●		
—	準絶滅危惧	コヤマトンボ	●		●	●		
		オオアメンボ			●			
	要注意	ハグロトンボ	●	●	●	●		
		ヤマサナエ	●	●	●	●		●
		コシボソヤンマ			●	●	●	●
		ミルンヤンマ			●	●		●
種数			6	3	6	7	1	3

注) レッドリスト等掲載種のカテゴリーは表21参照のこと


そのほかに水辺の目標種として使われることもあるゲンジボタルは、7地点で確認されました。横浜市内でも、源流域ではゲンジボタルを見ることが出来ます。

表6 ゲンジボタル(幼虫) 確認地点


水系	地点名
鶴見川	梅田川の神明橋
大岡川	氷取沢(左)
	氷取沢
境川	舞岡川の宮根橋上流
	稲荷川の杉之木橋上流
宮川	清水橋上流
侍従川	金の橋上流(左)




ゲンジボタル幼虫




アサヒナカワトンボ(オス)



ニホンカワトンボ(オス)

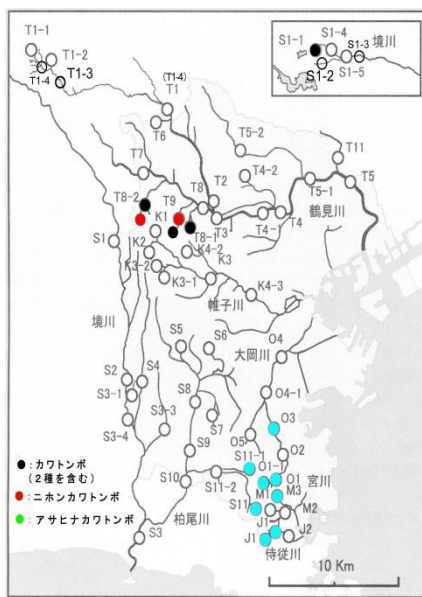


ハグロトンボ(成虫)



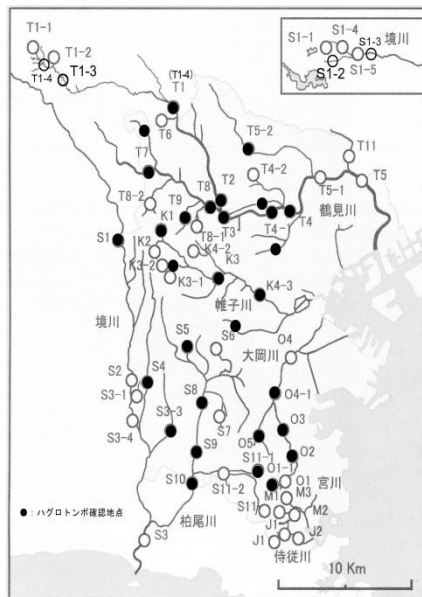
ハグロトンボ(幼虫)

コラム 3(1) カワトンボ科の生息状況(第4報~第14報)



● カワトンボ (2種を含む)
● ニホンカワトンボ
● アサヒナカワトンボ

カワトンボ類確認地点(第4報~第14報)



● ハグロトンボ確認地点

ハグロトンボ確認地点(第11報以降)

② 外来種

外来種は18種（外来種の可能性を含む）が確認されました。ウズムシ類（プラナリアの仲間）が2種、貝類が9種、ヨコエビ類が1種、エビ・カニ類が4種、フジツボ類が2種でした。

このうち国外外来種は17種（国外外来種の可能性を含む）でした。外来生物法で「特定外来生物」に指定されている種はありませんが、生態系被害防止外来種リストの緊急対策外来種が1種、その他の総合対策外来種が9種確認されました。

これらの種のうち、ムラサキイガイ、コウロエンカワヒバリガイ、イガイダマシ、アメリカフジツボ、ヨーロッパフジツボ、チチュウカイミドリガニの6種は、汽水～海水に生息する種です。淡水に生息する種では、市内でよくみられるアメリカザリガニのほか、最近国内で報告されたスジエビによく似た種（*Palaemonetes sinensis*：外来性スジエビ近似種）が確認されました。また国外外来種と考えられるカワリヌマエビ属は、2008年度に4地点、2011年度に13地点、今年度は23地点と、急速に生息範囲を広げているのが分かりました。

表7 確認された外来種

カテゴリー等	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	生息環境
国外外来種 緊急対策外来種	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●		淡水
国外外来種 その他の総合対策外来種	コモチカツボ	●		●	●	●	●	淡水
	ムラサキイガイ			●				汽水
	コウロエンカワヒバリガイ			●		●	●	汽水
	イガイダマシ	●		●				汽水
	タイワンシジミ	●	●	●	●			淡水
	アメリカフジツボ			●		●	●	汽水
	ヨーロッパフジツボ	●						汽水
	フロリダマミズヨコエビ	●	●	●	●			淡水
	チチュウカイミドリガニ					●	●	汽水
国外外来種	アメリカツノウズムシ	●	●	●	●			淡水
	アメリカナミウズムシ	●		●	●			淡水
	サカマキガイ	●	●	●	●	●	●	淡水
	インドヒラマキガイ				●			淡水
	外来性スジエビ近似種	●						淡水
国外外来種？	モノアラガイ科	●	●	●	●	●		淡水
	カワリヌマエビ属	●	●		●	●		淡水
国内外来種	ウスイロオカチグサ			●	●			淡水
種数		12	7	13	11	8	5	

注) 外来種のカテゴリー等は表22参照のこと

網掛：汽水～海水に生息する種

コラム3(2) カワトンボ類とハグロトンボ

コラム3(1)に示したように、横浜市内にはカワトンボ科のニホンカワトンボ・アサヒナカワトンボ・ハグロトンボの3種類が生息しています。河川の生物相調査では、カワトンボ(2種を含む)として第4報(1984年)から確認され、ハグロトンボは第11報(2005年)以降に生息範囲が広がりました。カワトンボ属は、以前はヒガシカワトンボ・ニシカワトンボ・オオカワトンボの3種とされていましたが、林ほか(2004)によってヒガシカワトンボとオオカワトンボは同じ種としてニホンカワトンボ、ニシカワトンボはアサヒナカワトンボとされました。横浜市内には、円海山周辺地域はアサヒナカワトンボが、鶴見川水系の支川(岩川・梅田川など)にはニホンカワトンボが生息しています。

荻部治紀・守屋博文・林文男(2010) 神奈川県を中心としたカワトンボ属の分布. 神奈川県立博物館 研究報告, (39): 25-34.

〔水草〕（沈水植物及びオランダガラシ）

水草は8種が確認されました。このうち在来種は4種で、レッドリスト等掲載種のセキショウモが確認されました。また外来種は4種確認され、いずれも国外外来種でした。このうちオオフサモは外来生物法で「特定外来生物」に指定されています。その他に生態系被害防止外来種リストの「重点対策外来種」が3種確認されました。「重点対策外来種」のオランダガラシは一般的にはクレソンと呼ばれているものです。

表8 確認された水草とカテゴリー等

レッドリスト等	外来生物法	生態系被害防止 外来種リスト	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	待従川
神奈川県：絶滅危惧IB類	—	—	セキショウモ	●					
(在来種)	—	—	エビモ			●		●	
			ヤナギモ	●					
			アイノコイトモ	●		●			
(国外外来種)	—	重点対策外来種	オランダガラシ	●	●	●	●	●	
			オオカナダモ	●	●		●		
			コカナダモ			●			
	特定外来生物	緊急対策外来種	オオフサモ	●					
種数				6	2	4	2	2	0
調査地点数				12	4	7	13	2	3

注) レッドリスト等掲載種、外来種のカテゴリー等は表 21、表 22 参照のこと



セキショウモ(絶滅危惧IB類)



エビモ



ヤナギモ



アイノコイトモ(左側)



オオカナダモ(重点対策外来種)



コナダモ(重点対策外来種)



オランダガラシ(重点対策外来種)



オオフサモ(特定外来生物)



オオカワジシャ(特定外来生物)

写真 横浜市内の水草(抽水植物を含む)

[抽水植物]

抽水植物は19種（ウキクサ類2種を含む）が確認されました。このうち在来種は14種で、レッドリスト等掲載種のみズキンバイが確認されました。また外来種は5種が確認され、いずれも国外外来種でした。このうちオオカワヂシャは外来生物法で「特定外来生物」に指定されています。その他に生態系被害防止外来種リストの「重点対策外来種」が3種、「その他の総合対策外来種」が1種確認されました。

表9 確認された抽水植物とカテゴリー等

レッドリスト等	外来生物法	生態系被害防止 外来種リスト	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
環境省：絶滅危惧Ⅱ類 神奈川県：絶滅危惧ⅠB類	—	—	みズキンバイ				●		
(在来種)	—	—	セリ	●	●	●	●	●	
			アシカキ	●					
			クサヨシ	●	●	●	●		
			ヨシ	●	●		●		
			ツルヨシ	●			●	●	
			マコモ				●		
			セキショウ	●	●	●	●	●	●
			アオウキクサ	●	●		●		
			ウキクサ	●			●		
			ヒメガマ	●	●		●		
			カサスゲ			●			
			カンガレイ	●			●		
サンカクイ	●			●					
(国外外来種)	—	その他の総合対策 外来種	キシウズズメノヒエ	●			●		
	—	重点対策外来種	ウチワゼニクサ	●	●	●			
			キショウブ	●	●	●	●		
			コゴメイ	●			●		
	特定外来生物	緊急対策外来種	オオカワヂシャ	●	●		●		
種数				16	9	6	16	3	1
調査地点数				12	4	7	13	2	3

注) レッドリスト等掲載種、外来種のカテゴリー等は表 21、表 22 参照のこと

コラム 4 水田のウキクサ類とシャジクモ



ウキクサ(大型)とアオウキクサ(小型)



シャジクモ(T6)



シャジクモの生える水田(T6)

河川の生物相調査では、市内を流れる河川の本川や支川を対象にしており、耕作地の水路を調査地点としているのは、鶴見川水系の寺家川(T6: 寺家ふるさと村)だけです。水田には、圃場特有の植物(いわゆる水田雑草)が生育しています。ウキクサ類は水田に多く見られ、他には湿地、ため池等の止水に生育しています。今回の調査では、ウキクサは2地点から、アオウキクサは3地点から確認されました。シャジクモ類は湖沼やため池等の止水に生育しますが、水田にも生える種類があります。生物相調査では、シャジクモは寺家川(T6)の水田でしか見つかっていませんが、市内の他の地域にも生育していると考えられます。

〔付着藻類〕

付着藻類は154種が確認され、流程が長くて調査地点が多い河川で多くの種が確認されました。鶴見川水系が111と最も多く、次いで境川水系が106種、大岡川水系が92種でした。

表 10-1 確認された付着藻類（水系別）

※●は定量調査、○は目視調査

No.	綱名	和名	学名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
1	藍藻綱	コンボウランソウ属	<i>Chamaesiphon</i> sp.	●		●	●	●	●
2		カサネランソウ属	<i>Chroococcus</i> spp.			●	●		
3		エントフィザリス属	<i>Entophysalis</i> sp.		●	●	●		
4		ピロウドラソウ	<i>Homoethrix janthina</i>	●	●	●	●	●	
5		リングピア属	<i>Lyngbya</i> sp.	●		●	●	●	
6		ミクロキスティス属	<i>Microcystis wesenbergii</i>	●					
7		サヤユレモ属	<i>Phormidium</i> sp.	●	●	●	●		
8		クセノコックス属	<i>Xenococcus</i> sp.	●	●	●			
9	珪藻綱	マガリケイソウ属	<i>Achnanthes amoena</i>	●					
10		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes brevipes</i> var. <i>intermedia</i>	●		●	●	●	●
11		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes clevei</i>		●	●	●		
12		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes delicatula</i>	●		●	●		●
13		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes exigua</i>	●	●		●		●
14		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes inflata</i>	●					
15		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes japonica</i>	●	●	●	●	●	●
16		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes kuwaitensis</i>			●	●	●	●
17		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes lanceolata</i>	●	●	●	●	●	●
18		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes minutissima</i>	●	●	●	●	●	●
19		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes rupestroides</i>		●	●			●
20		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes subhudsonis</i>	●	●	●	●		
21		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes</i> spp.	●		●	●		●
22		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora angusta</i>			●		●	●
23		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora coffeaeformis</i>	●		●	●	●	●
24		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora copulata</i>	●	●				
25		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora fontinalis</i>			●	●		●
26		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora montana</i>	●	●	●	●		●
27		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora ovalis</i>			●		●	
28		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora pediculus</i>	●	●	●	●	●	●
29		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora strigosa</i>	●	●		●		
30		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora veneta</i>	●	●		●		
31		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora</i> spp.	●		●	●	●	●
32		サミダレケイソウ属	<i>Anomooneis vitrea</i>		●				
33		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira italica</i>		●				
34		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira granulata</i>		●				
35		イカダケイソウ属	<i>Bacillaria paradoxa</i>	●	●	●	●		●
36		スジバネケイソウ属	<i>Caloneis bacillum</i>	●	●	●	●		
37		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis pediculus</i>	●	●	●	●		
38		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis placentula</i> var.	●	●	●	●	●	●
39		コアマケイソウ属	<i>Coscinodiscus</i> spp.					●	●
40		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella littoralis</i>			●		●	●
41		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella meneghiniana</i>	●	●		●		●
42		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella stelligera</i>		●				
43		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella</i> spp.			●			
44		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella lacustris</i>	●	●		●		
45		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella microcephala</i>		●				
46		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella prostrata</i>	●	●	●	●		
47		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella silesiaca</i>	●	●				
48		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella sinuata</i>	●	●	●	●		
49		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella tumida</i>	●					
50		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella turgidula</i>	●	●		●		
51		イタケイソウ属	<i>Diatoma vulgare</i>	●	●	●	●		
52		ナカケイソウ属	<i>Diploneis oblongella</i>						●
53		ナカケイソウ属	<i>Diploneis ovalis</i>				●		
54		ナカケイソウ属	<i>Diploneis</i> sp.						●
55		エントモネイス属	<i>Entomoneis paludosa</i>	●		●		●	●
56	クシケイソウ属	<i>Eunotia minor</i>	●			●			
57	クシケイソウ属	<i>Eunotia</i> sp.	●						
58	オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>gracilis</i>	●						
59	オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>vaucheriae</i>	●	●		●			
60	オビケイソウ属	<i>Fragilaria construens</i> f. <i>venter</i>	●	●		●			
61	オビケイソウ属	<i>Fragilaria crotonensis</i>	●	●					
62	オビケイソウ属	<i>Fragilaria fasciculata</i>	●	●	●	●	●	●	
63	オビケイソウ属	<i>Fragilaria pinnata</i>	●			●			
64	オビケイソウ属	<i>Fragilaria pinnata</i> var. <i>lanceitula</i>			●				
65	ヒシガタケイソウ属	<i>Frustulia vulgaris</i>	●	●	●	●		●	
66	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustatum</i>	●	●		●			
67	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustum</i>	●	●	●	●	●		
68	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clavatum</i>	●	●	●	●			
69	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clevei</i>	●	●		●			
70	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema minutum</i>		●		●	●	●	
71	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema parvulum</i>	●	●	●	●	●	●	
72	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>	●		●	●			
73	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema truncatum</i>	●	●	●	●		●	
74	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema</i> spp.			●	●		●	
75	エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma exilis</i>	●						

表 10-2 確認された付着藻類（水系別）

※●は定量調査、○は目視調査

No.	網名	和名	学名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	
76	珪藻綱	エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma nodiferum</i>	●		●	●			
77		サンカクガサネケイソウ属	<i>Hydrosera triquetra</i>	●						
78		チャツツケイソウ属	<i>Melosira moniliformis</i>			●				
79		チャツツケイソウ属	<i>Melosira nummuloides</i>			●	●	●	●	
80		チャツツケイソウ属	<i>Melosira varians</i>	●	●	●	●	●		
81		フネケイソウ属	<i>Navicula bacillum</i>	●	●		●			
82		フネケイソウ属	<i>Navicula capitatoradiata</i>	●						
83		フネケイソウ属	<i>Navicula cincta</i>		●	●	●			
84		フネケイソウ属	<i>Navicula confervacea</i>	●		●	●			
85		フネケイソウ属	<i>Navicula contenta</i>	●		●				
86		フネケイソウ属	<i>Navicula cryptocephala</i>	●	●	●	●	●	●	
87		フネケイソウ属	<i>Navicula cryptotenella</i>	●	●	●	●	●	●	
88		フネケイソウ属	<i>Navicula decussis</i>			●	●			
89		フネケイソウ属	<i>Navicula goeppertiana</i>	●	●	●	●			
90		フネケイソウ属	<i>Navicula gregaria</i>	●	●	●	●	●	●	
91		フネケイソウ属	<i>Navicula margalithii</i>	●	●	●	●	●	●	
92		フネケイソウ属	<i>Navicula minima</i>	●	●	●	●	●	●	
93		フネケイソウ属	<i>Navicula mutica</i> var. <i>ventricosa</i>	●			●			
94		フネケイソウ属	<i>Navicula nipponica</i>	●	●					
95		フネケイソウ属	<i>Navicula pseudacceptata</i>	●	●		●			
96		フネケイソウ属	<i>Navicula pupula</i>				●			
97		フネケイソウ属	<i>Navicula pygmaea</i>			●			●	
98		フネケイソウ属	<i>Navicula recens</i>			●		●		
99		フネケイソウ属	<i>Navicula subminuscula</i>	●		●	●			
100		フネケイソウ属	<i>Navicula symmetrica</i>	●	●		●		●	
101		フネケイソウ属	<i>Navicula tenera</i>	●		●				
102		フネケイソウ属	<i>Navicula veneta</i>	●	●	●	●	●	●	
103		フネケイソウ属	<i>Navicula ventralis</i>	●	●	●	●	●	●	
104		フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostellata</i>	●	●	●	●		●	
105		フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostrata</i>	●	●	●	●			
106		フネケイソウ属	<i>Navicula yuraensis</i>	●	●	●	●	●	●	
107		フネケイソウ属	<i>Navicula</i> spp.	●	●	●	●	●	●	
108		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia amphibia</i>	●	●	●	●	●	●	
109		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia clausii</i>				●	●		
110		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia constricta</i>	●		●	●	●	●	
111		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia dissipata</i>	●	●	●	●		●	
112		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia filiformis</i>	●			●		●	
113		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia fonticola</i>	●		●	●			
114		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia inconspicua</i>	●	●	●	●	●	●	
115		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia levidensis</i> var. <i>salinarum</i>			●		●		
116		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia linearis</i>	●	●	●	●	●	●	
117		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia palea</i>	●	●	●	●	●	●	
118		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia paleacea</i>	●						
119		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia scalpelliformis</i>					●		
120		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia sinuata</i> var. <i>delognei</i>	●	●	●	●		●	
121		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia vermicularis</i>	●		●	●			
122		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia</i> spp.				●		●	
123		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia braunii</i>				●			
124		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia viridis</i>	●	●					
125		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia</i> sp.	●	●		●		●	
126		メガネケイソウ属	<i>Pleurosigma</i> sp.			●			●	
127		ジグザグオオメダマケイソウ属	<i>Pleurosira laevis</i>	●	●	●				
128		マガリクサビケイソウ属	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	●	●	●	●	●	●	
129		オオコミンケイソウ属	<i>Surirella angusta</i>	●			●			
130		オオコミンケイソウ属	<i>Surirella ovalis</i>	●						
131		オオコミンケイソウ属	<i>Surirella</i> sp.			●				
132		オビケイソウ属	<i>Synedra pulchella</i>		●					
133		ナガケイソウ属	<i>Synedra ulna</i>	●	●	●	●			
134		ニセミアケイソウ属	<i>Thalassiosira</i> sp.			●				
135		ウルナリア属	<i>Ulnaria pseudogaillonii</i>	●	●	●	●		●	
136		紅藻綱	カワモズク属のシャントランシア期	chantransia-phase of <i>Batrachospermum</i> sp.	●	●	●	●	●	●
137			オオイシソウ	<i>Compsopogon coeruleus</i>	●	●		●		○
138			タンスイベニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>			○			○
139		褐藻綱	イズミイシノカワ	<i>Heribaudiella fluviatilis</i>					○	
140		ミドリムシ藻綱	トラケロモナス属	<i>Trachelomonas</i> sp.		●				
141		緑藻綱	シオグサ属	<i>Cladophora</i> sp.	●	●	●	●	●	●
142			トゲナシツルギ	<i>Cloniophora plumosa</i>	●	●	●	●	●	●
143			ミクロスポラ属	<i>Microspora willaeana</i>		●				
144			モノラフィデウム属	<i>Monoraphidium fontinale</i>	●			●		
145			サヤミドロ属	<i>Oedogonium</i> sp.	●	●	●	●		
146			クンショウモ属	<i>Pediastrum boryanum</i>	●	●		●		
147			ネダシグサ属	<i>Rhizoclonium</i> sp.	●		●	●		
148			イカダモ属	<i>Scenedesmus</i> spp.	●	●		●		
149			アオミドロ属	<i>Spirogyra</i> sp.	●		●	●		
150			キヌミドロ属	<i>Stigeoclonium</i> sp.	●	●		●		
151			ヨツメモ属	<i>Tetraspora</i> sp.	●					
152			ヒビミドロ属	<i>Ulothrix</i> sp.				●		
153			スジアオリ	<i>Ulva prolifera</i>			●	●	●	●
154			カエトフオラ科	Chaetophoraceae gen sp.	●	●				
種類数(定量+目視確認)				111	86	92	106	46	63	
種類数(定量調査)				111	86	91	106	46	60	
調査地点数				12	4	7	13	2	3	

レッドリスト等掲載種

レッドリスト等掲載種は3種で、褐藻類1種、紅藻類2種でした。

表 11 確認されたレッドリスト等掲載種

環境省 RL	分類	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
絶滅危惧Ⅰ類	褐藻綱	イズミイシノカワ						●
絶滅危惧Ⅱ類	紅藻綱	オオイシソウ	●	●		●		●
準絶滅危惧	紅藻綱	タンスイベニマダラ			●			●
種数			1	1	1	1	0	3

注) レッドリスト等掲載種のカテゴリーは表 21 参照のこと



イズミイシノカワ(絶滅危惧Ⅰ類)

中央の茶色



オオイシソウ(絶滅危惧Ⅱ類)

糸状の薄い青色



タンスイベニマダラ(準絶滅危惧)

中央の赤色

写真 付着藻類のレッドリスト等掲載種

[水質評価]

調査で確認された生物種から、横浜市の生物指標を用いて水質評価を行いました。「大変きれい」、「きれい」をあわせると、2014年度冬季は全地点の90%、2015年度夏季は95%という結果になりました。「汚れている」の地点は、感潮域の地点でした。

表 12 水質評価をした地点数 (2014年度冬季調査)

評価	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	地点数 (割合)
大変きれい	6	2	5	11	1	2	27(66%)
きれい	3	2	2	1	1	1	10(24%)
やや汚れている	1						1(2%)
汚れている	1			1			2(5%)
非常に汚れている							0(0%)
評価できない	1						1(2%)
調査地点数	12	4	7	13	2	3	41

表 13 水質評価をした地点数 (2015年度夏季調査)

評価	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	地点数 (割合)
大変きれい	4	4	5	10	1	2	26(63%)
きれい	7		1	3	1	1	13(32%)
やや汚れている							0(0%)
汚れている	1		1				2(5%)
非常に汚れている							0(0%)
評価できない							0(0%)
調査地点数	12	4	7	13	2	3	41



図2 横浜市内河川の水生生物による水質評価結果 (2014 年度冬季)



図3 横浜市内河川の水生生物による水質評価結果 (2015 年度夏季)

3. 各水系における調査結果概要

〔鶴見川水系〕

青葉区、緑区、都筑区、港北区、鶴見区の12地点で、魚類39種、底生動物116種、水草6種、抽水植物16種、付着藻類111種の合計288種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は20種が確認されました。このうち魚類はニホンウナギ、マルタなど12種、底生動物はマルタニシなど6種、水草ではセキショウモ1種、付着藻類はオオイシソウ1種でした。

外来種は33種が確認されました。魚類は「特定外来生物」のカダヤシなど13種、底生動物は「緊急対策外来種」のアメリカザリガニや、「国外外来種」の外来性スジエビ近似種

(*Palaemonetes sinensis*)など12種、水草は「特定外来生物」のオオフサモなど3種、抽水植物は「特定外来生物」のオオカワヂシャなど5種でした。

2014年度冬季の水質評価は、「大変きれい」が6地点、「きれい」が3地点、「やや汚れている」が1地点、「汚れている」が1地点、「評価できない」が1地点でした。2015年度夏季の水質評価は、「大変きれい」が4地点、「きれい」が7地点、「汚れている」が1地点でした。



寺家川 山田谷戸



鶴見川 水車橋



鶴見川 末吉橋

〔帷子川水系〕

旭区と保土ヶ谷区の4地点で、魚類23種、底生動物75種、水草2種、抽水植物9種、付着藻類86種の合計195種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は14種が確認されました。魚類は、ホトケドジョウ、マルタなど10種、底生動物はハグロトンボなど3種、付着藻類はオオイシソウ1種でした。

外来種は14種が確認されました。このうち魚類は「国内外来種」のタモロコとギバチの2種、底生動物は「緊急対策外来種」のアメリカザリガニや、「国外外来種」のアメリカツノウズムシなど7種、水草は「重点対策外来種」のオオカナダモなど2種、抽水植物は「特定外来生物」のオオカワヂシャなど3種でした。

2014年度冬季の水質評価は、「大変きれい」が2地点、「きれい」が2地点でした。2015年度夏季の水質評価は、「大変きれい」が4地点でした。



帷子川 大貫橋上流



帷子川 鶴舞橋



帷子川 横浜新道下

〔大岡川水系〕

磯子区、港南区、南区の7地点で、魚類24種、底生動物126種、水草4種、抽水植物6種、付着藻類92種の合計252種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は17種が確認されました。このうち魚類は、アブラハヤ、ヒガシシマドジョウなど10種、底生動物はコヤマトンボ、オオアメンボなど6種、付着藻類はタンスイベニマダラ1種でした。

外来種は20種が確認されました。このうち魚類は「国内外来種」のタカハヤなど3種、底生動物は「緊急対策外来種」のアメリカザリガニや、「国外外来種」のアメリカツノウズムシなど13種、水草は「重点対策外来種」のコカナダモなど2種、抽水植物は「重点対策外来種」のキショウブなど2種でした。

2014年度冬季の水質評価は、水質評価は「大変きれい」が5地点、「きれい」が2地点でした。2015年度夏季の水質評価は、「大変きれい」が5地点、「きれい」が1地点、「汚れている」が1地点でした。



大岡川 水取沢



大岡川 曲田橋



大岡川 井土ヶ谷橋

〔境川水系〕

瀬谷区、泉区、栄区、戸塚区の13地点で、魚類35種、底生動物151種、水草2種、抽水植物16種、付着藻類106種の合計310種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は24種が確認されました。このうち魚類はニホンウナギ、オオヨシノボリなど15種が確認され、他水系に比べて種類が多く確認されました。そのほか底生動物はマシジミなど7種、抽水植物は「環境省RL絶滅危惧Ⅱ類」のミズキンバイ1種、付着藻類はオオイシソウ1種が確認されました。

外来種は25種が確認されました。このうち魚類は「特定外来生物」のカダヤシなど8種、底生動物は「緊急対策外来種」のアメリカザリガニや「国外外来種」のインドヒラマキガイなど11種、水草は「重点対策外来種」のオオカナダモなど2種、抽水植物は「特定外来生物」のオオカワヂシャなど4種でした。

2014年度冬季の水質評価は、「大変きれい」が11地点、「きれい」が1地点、「汚れている」が1地点でした。2015年度夏季の水質評価は、「大変きれい」が10地点、「きれい」が3地点でした。



境川 稲荷川



和泉川 地藏原の水辺



柏尾川 鷹匠橋

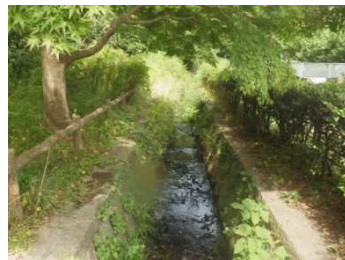
〔 宮川水系 〕

金沢区を流れる宮川水系の2地点で、魚類11種、底生動物58種、水草2種、抽水植物3種、付着藻類46種の合計120種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は6種が確認されました。このうち魚類はマルタ、ウロハゼなど5種、底生動物はコンボソヤンマ1種でした。

外来種は10種が確認されました。魚類は「特定外来生物」のカダヤシ1種、底生動物は「緊急対策外来種」のアメリカザリガニなど8種、水草は「重点対策外来種」のオランダガラシ（クレソン）1種でした。

2014年度冬季の水質評価は、「大変きれい」が1地点、「きれい」が1地点でした。2015年度夏季の水質評価は、「大変きれい」が1地点、「きれい」が1地点でした。



宮川 清水橋上流



宮川 桜橋

〔 侍従川水系 〕

金沢区を流れる侍従川水系の3地点で、魚類8種、底生動物70種、水草0種、抽水植物1種、付着藻類63種の合計142種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は8種が確認されました。このうち魚類はスミウキゴリとウロハゼの2種、底生動物はヤマサナエなど3種、付着藻類はタンスイベニマダラなど3種でした。

外来種は5種が確認されました。底生動物はコウロエンカワヒバリガイやアメリカフジツボなど汽水性の「その他の総合対策外来種」3種と、淡水性で「その他の総合対策外来種」のコモチカワツボ、国外外来種のサカマキガイの2種でした。

2014年度冬季の水質評価は、「大変きれい」が2地点、「きれい」が1地点でした。2015年度夏季の水質評価は、「大変きれい」が2地点、「きれい」が1地点でした。



侍従川 金の橋上流



侍従川 金の橋上流（左）



侍従川 六浦二号橋

4. 各区における結果

横浜市 18 区のうち、調査を行った 15 の区において、確認された水生生物と水質をまとめました。区の並びは五十音順とし、2つの区にまたがる調査地点は両方の区のデータとしました。よって、鶴見川千代橋と落合橋は都筑区と緑区に、第三京浜下は港北区と都筑区に、境川水系柏尾川の栄第二水再生センター下流は栄区と戸塚区に含まれます。

4.1 区別集計結果

各調査項目について、区別の結果を集計しました。

[魚類]

表 14 確認された魚類

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	谷保土ヶ	緑区	南区
1	ニホンウナギ							●	●		●	●	●			
2	コイ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●		●	
3	イロゴイ	●						●	●		●		●		●	
4	キンギョ						●									
5	ギンブナ		●							●					●	
6	オイカワ	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●		●	
7	カワムツ			●							●		●		●	
8	アブラハヤ	●		●	●		●		●			●			●	
9	タカハヤ				●		●									
-	アブラハヤ属 (幼魚)				●											
10	ファットヘッドミノー	●														
11	マルタ					●	●	●			●	●	●			
12	ウグイ		●	●			●						●			
13	モツゴ	●	●	●		●			●		●		●		●	
14	タモロコ	●	●	●						●	●		●		●	
15	カマツカ							●			●				●	
16	イトモロコ							●			●				●	
17	スゴモロコ類							●			●				●	
18	ドジョウ	●	●	●		●	●		●	●			●		●	
19	カラドジョウ	●														
20	ヒガシシマドジョウ		●		●		●								●	
21	ホトケドジョウ		●		●								●		●	
22	ギバチ		●													
23	ナマズ				●								●		●	
24	アユ		●	●			●		●		●		●		●	
25	カダヤシ					●		●	●		●		●		●	
26	グッピー							●	●	●			●			
27	ミナミメダカ	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●		●	●
28	ヒメダカ	●								●						
29	ダツ															
30	ブルーギル															
31	オオクチバス	●						●	●			●				
32	イケカツオ															
33	クロダイ											●				
34	ボラ					●	●	●	●		●	●	●			●
35	カワアナゴ							●					●			
36	ボウズハゼ												●			
37	ミミズハゼ															
38	ドロメ															●
39	スミウキゴリ				●	●	●	●	●		●	●	●	●		●
40	ウキゴリ						●				●			●		●
41	ピリンゴ					●	●	●						●		●
42	ウロハゼ					●										
43	マハゼ					●	●	●	●		●	●	●			●
44	アシシロハゼ															
45	ヒナハゼ					●		●				●				●
46	アベハゼ					●		●				●				●
47	カワヨシノボリ	●									●				●	
48	シマヨシノボリ			●			●		●				●	●		
49	オオヨシノボリ			●						●			●	●		
50	ゴクラクハゼ							●					●	●		
51	クロダハゼ	●	●					●					●	●		
52	トウヨシノボリ類		●	●			●				●		●		●	
53	ヌマチチブ		●					●	●		●	●	●			●
54	チチブ											●				●
種数		15	15	13	7	13	17	19	20	9	22	13	26	14	19	10
調査地点数		3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

注) 大岡川に生息するアブラハヤとタカハヤの幼魚は区別が困難なので、アブラハヤ属としています。そのため確認種としてのアブラハヤ属は、種類数に加えていません。

[底生動物]

表 15-1 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	谷保土ヶ	緑区	南区
1	ダンスイカイメン科								●		●		●		●	
2	ナミウズムシ		●		●	●	●		●				●			
3	アメリカツノウズムシ	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	
4	アメリカナミウズムシ						●	●	●		●		●		●	
5	エビヤドリツノムシ				●		●	●								
6	マミズヒモムシ科		●	●					●				●			
7	タデジマイソギンチャク															●
8	コウダカアオガイ					●										
9	マルタニシ	●														
10	ヒメタニシ	●							●							
11	カワエナ	●	●		●	●	●		●		●		●		●	
12	ホソウミニナ					●										
13	タマキビガイ					●										●
14	コモチカワツボ				●	●	●		●						●	
15	ウスイロオカチグサ				●		●		●				●			
16	カワコザラガイ				●								●			
17	ヒメモノアラガイ		●	●	●											
18	モノアラガイ科	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●	●	
19	サカマキガイ	●	●	●	●	●	●		●		●		●	●	●	
20	ヒラマキミズマイマイ		●	●				●			●		●		●	
21	インドヒラマキガイ								●				●			
22	ムラサキイガイ															●
23	コウロエンカワヒバリガイ					●										●
24	イガイダマシ											●				●
25	マガキ					●										●
26	タイワンシジミ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
27	ヤマトシジミ											●				
28	マシジミ								●							
29	マメシジミ属			●	●	●	●		●			●			●	
30	ヤマトカワゴカイ					●						●				●
31	イトゴカイ					●						●				●
32	カニヤドリカンザシゴカイ															●
33	ヒメミミズ科	●	●	●	●		●	●	●		●		●		●	
34	エラムミズ	●		●	●	●										
35	ミズミミズ亜科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	イトミミズ亜科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
37	ハバヒロビル								●				●			
38	ヌマビル							●	●		●		●		●	
39	アタマビル								●				●		●	
40	シマイシビル	●	●	●			●			●		●		●	●	
41	ピロウドイシビル	●	●	●			●	●	●		●		●		●	
42	シロスジフジツボ															●
43	アメリカフジツボ					●										●
44	ヨーロッパフジツボ											●				
45	イソコツブムシ属					●										●
46	ミズムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
47	ドロクダムシ属					●						●				●
48	ニッポンドロソコエビ					●										●
49	フロリダミズヨコエビ	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	
50	アゴトゲヨコエビ					●							●			
51	メリタヨコエビ属					●						●				
52	ミゾレスマエビ						●	●	●		●		●	●		
53	ヤマトヌマエビ								●							
54	カワリヌマエビ属	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	
55	ヌマエビ					●										
56	ヌカエビ		●		●	●	●		●							
57	シラタエビ															●
58	ミナミテナガエビ								●				●			
59	ヒラテナガエビ			●					●				●			
60	テナガエビ							●	●		●	●	●			
61	ユビナガスジエビ					●										●
62	スジエビ	●	●	●					●		●		●		●	
63	スジエビモドキ					●										
64	<i>Palaemonetes sinensis</i>										●				●	
65	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
66	チチュウカイミドリガニ					●							●			
67	サワガニ			●	●	●			●			●				
68	チゴガニ					●										
69	クロベンケイガニ							●				●				
70	モクズガニ	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	

表 15-2 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	谷保土ヶ	緑区	南区
71	マエグロヒメフタオカゲロウ				●				●							
72	ミツオミジカオフトバコカゲロウ		●	●				●		●	●		●		●	
73	ミジカオフトバコカゲロウ		●	●						●					●	
74	ヨシノコカゲロウ				●	●			●							
75	フタバコカゲロウ		●	●						●						
76	サホコカゲロウ	●	●	●			●	●	●	●	●		●		●	
77	フタモンコカゲロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	
78	シロハラコカゲロウ		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
79	Dコカゲロウ												●			
80	フタバカゲロウ属	●	●		●		●				●				●	
81	ウスイロフトヒゲコカゲロウ	●	●	●			●	●			●		●	●	●	
82	ヒメウスバコカゲロウ属				●		●			●						
83	ウデマガリコカゲロウ	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	
84	シロタニガワカゲロウ			●	●				●	●	●		●		●	
85	エルモンヒラタカゲロウ			●						●						
86	オオフタオカゲロウ				●											
87	フタスジモンカゲロウ				●	●			●							
88	オオクママダラカゲロウ				●	●			●							●
89	エラブタマダラカゲロウ		●	●				●		●	●			●	●	
90	ヒメシロカゲロウ属				●		●		●				●			
91	アジアイトトンボ	●					●		●		●		●		●	
92	ハグロトンボ	●	●	●	●		●		●	●	●		●	●	●	
93	ニホンカワトンボ															●
94	アサヒナカワトンボ				●	●	●		●							
95	ヤマササエ				●	●			●				●	●	●	
96	ダビドササエ				●	●			●							
97	オオガササエ							●		●	●		●			
98	コオニヤンマ				●	●	●	●	●	●	●		●		●	
99	コシボソヤンマ				●	●	●	●	●	●	●		●			
100	ミルンヤンマ				●	●			●							
101	オニヤンマ	●	●		●				●				●			
102	コヤマトンボ				●		●		●		●					
103	シオカラトンボ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	
104	オオシオカラトンボ				●											
105	ウスバキトンボ						●									
106	コシアキトンボ									●			●			
107	ホソカワゲラ科								●							
108	フサオナシカワゲラ属				●	●			●							
109	オナシカワゲラ属	●	●		●	●			●				●			
110	ヤマトフタツメカワゲラ				●	●			●							
111	オオアメンボ				●											
112	アメンボ	●			●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
113	シマアメンボ				●	●			●				●		●	
114	チビミズムシ属					●										
115	タイコウチ	●														
116	センブリ属				●	●			●							
117	ヤマトクロスジヘビトンボ				●	●			●				●			
118	ヘビトンボ				●				●							
119	コタニガワトビケラ属								●							
120	コガタシマトビケラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	
121	ナミコガタシマトビケラ	●		●	●	●	●	●	●				●			
122	ウルマニシマトビケラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	
123	クダトビケラ属	●	●	●				●	●	●	●		●	●	●	
124	ムネカクトビケラ								●				●			
125	キヨスミナガレトビケラ					●			●							
126	ヒメトビケラ属	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	
127	コエグリトビケラ属		●		●	●			●							
128	コバントビケラ				●											
129	ニンギョウトビケラ	●	●											●	●	
130	カタツムリトビケラ					●										
131	カクツツトビケラ属				●	●			●					●	●	
132	アオヒゲナガトビケラ属				●		●	●		●	●		●		●	
133	クサツミトビケラ属												●			
134	セグロトビケラ															●
135	ハナセマルツツトビケラ					●										
136	クマガトビケラ属				●	●			●							
137	モンキマメゲンゴロウ				●	●										
138	ゲンゴロウ科 (幼虫)				●	●										
139	ガムシ科 (幼虫)							●			●					
140	ゲンジボタル (幼虫)				●	●			●				●		●	

表 15-3 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	谷保土ヶ	緑区	南区
141	チビヒゲナガハナノミ属	●			●	●				●						
142	クシヒゲマルヒラタドロムシ								●							
143	ヒメツヤドロムシ					●										
144	ヒメドロムシ科(幼虫)				●	●			●							
145	ウスバガガンボ属	●	●	●	●				●	●			●		●	
146	Dicranota 属				●				●							
147	Erioptera 属							●								
148	ヒゲナガガガンボ属				●				●				●			
149	カスリヒメガガンボ属					●										
150	Limonia 属					●										
151	Ormosia 属					●										
152	ダイミョウガガンボ属												●			
153	Yamatotipula 亜属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
154	Nippotipula 亜属				●	●	●		●				●	●	●	●
155	ガガンボ科	●				●						●				
156	ナガレチヨウバエ属												●			
157	チヨウバエ属	●	●	●	●	●	●	●					●	●		
158	オオケチヨウバエ属		●		●	●	●	●								
159	ホソカ属	●				●			●				●			
160	ツノマユフユ属	●	●	●	●	●			●				●			
161	アシマダラフユ属			●			●	●			●		●			●
162	ユスリカバエ科					●							●			
163	Bezzia 属			●		●			●		●		●			
164	ボカシヌマユスリカ属	●	●		●	●	●									●
165	ヤマトヒメユスリカ族	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
166	サワユスリカ属		●			●							●	●	●	●
167	ケブカエリユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
168	ハダカユスリカ属	●	●	●			●	●	●	●	●		●			●
169	コナユスリカ属				●				●							
170	ツヤユスリカ属	●	●	●			●	●	●	●	●		●	●	●	●
171	エラノリユスリカ属								●							
172	デンマクエリユスリカ属	●			●											
173	キリカキケバネエリユスリカ属				●	●			●							
174	ムナトゲエリユスリカ属		●	●				●			●					●
175	コガタエリユスリカ属										●					
176	エリユスリカ属	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
177	ニセトゲアシエリユスリカ属				●				●							
178	ニセナガレツヤユスリカ属	●	●	●		●	●	●			●		●			●
179	ニセケバネエリユスリカ属	●	●	●	●	●		●					●	●	●	●
180	クロツヤエリユスリカ属	●		●									●	●		●
181	ナガレツヤユスリカ属	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
182	ムナクボエリユスリカ属							●		●	●					●
183	ヌカユスリカ属	●	●	●	●			●		●	●		●			●
184	トクナガエリユスリカ属	●		●			●	●		●	●		●			●
185	セスジユスリカ	●	●	●		●	●		●		●		●			●
186	ユスリカ属	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
187	カマガタユスリカ属		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
188	スジカマガタユスリカ属		●	●					●				●			
189	ホソミユスリカ属			●				●	●	●	●		●	●	●	●
190	ミズクサユスリカ属							●								
191	セボリユスリカ属	●							●		●	●	●			●
192	ナガスネユスリカ属				●	●			●				●			
193	ツヤムネユスリカ属	●			●	●			●				●			
194	カワリユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
195	ハモンユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
196	ナガレユスリカ属	●	●	●	●		●	●	●		●		●			●
197	アシマダラユスリカ属								●				●			
198	ヒゲユスリカ属	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●
199	コモンナガレアブ								●							●
200	サツマモンナガレアブ				●	●			●							●
201	ミズアブ科		●										●			
202	オドリバエ科		●	●					●				●			
203	アシナガバエ科								●				●			
204	ミギワバエ科												●			
	種数	65	66	68	91	92	63	58	112	45	68	20	106	40	80	17
	調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

[水草]

表 16 確認された水草 (※沈水植物及びオランダガラシ)

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	谷区	保土ヶ	緑区	南区
1	オランダガラシ	●	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●		
2	オオフサモ	●									●					●	
3	オオカナダモ		●							●	●		●			●	
4	コカナダモ						●										
5	セキショウモ							●			●					●	
6	エビモ					●	●										
7	ヤナギモ							●			●					●	
8	アイノコイトモ						●	●			●					●	
	種数	2	2	1	1	2	3	3	1	2	6	0	2	1		6	0
	調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1		4	1

[抽水植物]

表 17 確認された抽水植物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	谷区	保土ヶ	緑区	南区
1	オオカワヂシャ	●		●						●	●			●	●		
2	ミズキンバイ								●				●				
3	ウチワゼニクサ						●				●			●			
4	セリ	●			●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	
5	キショウブ			●	●								●	●	●	●	
6	コゴメイ							●	●		●					●	
7	アシカキ	●															
8	キシウスズメノヒエ			●					●				●			●	
9	クサヨシ	●	●		●		●		●		●		●			●	
10	ヨシ		●	●					●		●		●	●			
11	ツルヨシ	●		●		●		●	●	●	●		●			●	
12	マコモ												●				
13	セキショウ	●		●	●	●	●		●		●		●	●	●	●	
14	アオウキクサ			●										●	●		
15	ウキクサ			●												●	
16	ヒメガマ	●	●	●				●	●		●		●	●	●	●	
17	カサスゲ				●												
18	カンガレイ	●									●		●			●	
19	サンカクイ										●		●			●	
	種数	8	3	9	5	3	4	3	9	3	11	0	12	8		13	0
	調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1		4	1

※表 17 にはウキクサ類 (浮遊植物) も含む

[付着藻類]

表 18-1 確認された付着藻類

No.	綱名	和名	学名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区	
1	藍藻綱	コンボウランソウ属	<i>Chamaesiphon</i> sp.			●		●	●	●	●	●	●		●		●	●	
2		カサネランソウ属	<i>Chroococcus</i> spp.													●		●	●
3		エントフィザリス属	<i>Entophysalis</i> sp.		●	●			●	●	●						●	●	●
4		ピロウドラソウ	<i>Homoeothrix janthina</i>		●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
5		リングビア属	<i>Lyngbya</i> sp.		●				●					●	●	●		●	●
6		ミクロキステイス属	<i>Microcystis wesenbergii</i>								●								
7		サヤユレモ属	<i>Phormidium</i> sp.		●	●	●				●	●		●		●	●	●	●
8		クセノコックス属	<i>Xenococcus</i> sp.		●	●				●	●		●			●	●	●	●
9	珪藻綱	マガリケイソウ属	<i>Achnanthes amoena</i>												●				
10		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes brevipes</i> var. <i>intermedia</i>			●		●		●								●	
11		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes clevei</i>		●		●		●	●									
12		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes delicatula</i>						●	●	●				●				
13		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes exigua</i>		●	●			●	●	●			●	●				●
14		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes inflata</i>								●			●					●
15		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes japonica</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes kuwaitensis</i>						●		●								●
17		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes lanceolata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes minutissima</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes rupestroides</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes subhudsonis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes</i> spp.				●	●	●	●	●			●					●
22		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora angusta</i>						●										●
23		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora coffeaeformis</i>						●	●	●				●	●			●
24		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora copulata</i>		●		●				●							●	●
25		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora fontinalis</i>				●		●	●	●								●
26		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora montana</i>		●	●	●	●	●	●	●				●				●
27		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora ovalis</i>						●										●
28		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora pediculus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
29		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora strigosa</i>		●	●				●	●				●	●			●
30		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora veneta</i>		●					●						●			●
31		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora</i> spp.					●	●	●					●				●
32		サミダレケイソウ属	<i>Anomooneis vitrea</i>			●													
33		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira italica</i>																
34		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira granulata</i>		●														
35		イカダケイソウ属	<i>Bacillaria paradoxa</i>		●	●	●	●	●	●	●			●	●			●	●
36		スジフネケイソウ属	<i>Caloneis bacillum</i>		●	●			●	●	●			●					●
37		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis pediculus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
38		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis placentula</i> var.		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
39		コアマケイソウ属	<i>Coscinodiscus</i> spp.						●										
40		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella littoralis</i>						●										●
41		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella meneghiniana</i>		●	●		●						●				●	●
42		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella stelligera</i>		●														●
43		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella</i> spp.																●
44		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella lacustris</i>		●	●					●								
45	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella microcephala</i>		●															
46	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella prostrata</i>		●	●				●					●				●	
47	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella silesiaca</i>											●					●	
48	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella sinuata</i>		●	●	●			●	●				●				●	
49	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella tumida</i>							●									●	
50	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella turgidula</i>		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
51	イタケイソウ属	<i>Diatoma vulgare</i>		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
52	ナカケイソウ属	<i>Diploneis oblongella</i>			●			●						●	●	●	●	●	
53	ナカケイソウ属	<i>Diploneis ovalis</i>			●														
54	ナカケイソウ属	<i>Diploneis</i> sp.						●											
55	エントモネイス属	<i>Entomoneis paludosa</i>						●						●				●	
56	クシケイソウ属	<i>Eunotia minor</i>		●									●		●			●	
57	クシケイソウ属	<i>Eunotia</i> sp.								●				●				●	
58	オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>gracilis</i>		●						●									
59	オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>vaucheriae</i>		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	
60	オビケイソウ属	<i>Fragilaria construens</i> f. <i>venter</i>		●	●					●	●							●	
61	オビケイソウ属	<i>Fragilaria crotonensis</i>		●									●					●	
62	オビケイソウ属	<i>Fragilaria fasciculata</i>		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
63	オビケイソウ属	<i>Fragilaria pinnata</i>								●	●	●	●	●	●	●	●	●	
64	オビケイソウ属	<i>Fragilaria pinnata</i> var. <i>lancettula</i>					●												
65	ヒシガタケイソウ属	<i>Frustulia vulgaris</i>		●	●			●	●	●									
66	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustatum</i>		●	●					●						●	●		
67	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustum</i>		●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●		
68	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clavatum</i>		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
69	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clevei</i>		●	●					●	●			●	●	●	●		
70	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema minutum</i>						●		●								●	
71	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema parvulum</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
72	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
73	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema truncatum</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
74	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema</i> spp.					●			●				●				●	
75	エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma exilis</i>								●									
76	エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma nodiferum</i>					●			●	●				●				

表 18-2 確認された付着藻類

No.	網名	和名	学名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区	
77	珪藻綱	サンカクガサネケイソウ属	<i>Hydrosera triquetra</i>						●									●	
78		チャヅツケイソウ属	<i>Melosira moniliformis</i>																●
79		チャヅツケイソウ属	<i>Melosira nummuloides</i>						●										●
80		チャヅツケイソウ属	<i>Melosira varians</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
81		フネケイソウ属	<i>Navicula bacillum</i>		●	●	●												●
82		フネケイソウ属	<i>Navicula capitatoradiata</i>		●														●
83		フネケイソウ属	<i>Navicula cincta</i>			●	●			●	●								●
84		フネケイソウ属	<i>Navicula confervacea</i>			●				●	●								●
85		フネケイソウ属	<i>Navicula contenta</i>		●														●
86		フネケイソウ属	<i>Navicula cryptocephala</i>		●	●	●		●	●	●								●
87		フネケイソウ属	<i>Navicula cryptotenella</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
88		フネケイソウ属	<i>Navicula decussis</i>				●	●		●	●								●
89		フネケイソウ属	<i>Navicula goeppertiana</i>			●				●	●								●
90		フネケイソウ属	<i>Navicula gregaria</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
91		フネケイソウ属	<i>Navicula margalithii</i>			●		●	●	●	●								●
92		フネケイソウ属	<i>Navicula minima</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
93		フネケイソウ属	<i>Navicula mutica</i> var. <i>ventricosa</i>							●	●								●
94		フネケイソウ属	<i>Navicula nipponica</i>		●	●					●								●
95		フネケイソウ属	<i>Navicula pseudacceptata</i>				●				●								●
96		フネケイソウ属	<i>Navicula pupula</i>										●						●
97		フネケイソウ属	<i>Navicula pygmaea</i>						●										●
98		フネケイソウ属	<i>Navicula recens</i>						●										●
99		フネケイソウ属	<i>Navicula subminuscula</i>				●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
100		フネケイソウ属	<i>Navicula symmetrica</i>			●				●	●								●
101		フネケイソウ属	<i>Navicula tenera</i>																●
102		フネケイソウ属	<i>Navicula veneta</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
103		フネケイソウ属	<i>Navicula ventralis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
104		フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostellata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
105		フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostrata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
106		フネケイソウ属	<i>Navicula yuraensis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
107		フネケイソウ属	<i>Navicula</i> spp.					●	●						●	●			●
108		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia amphibia</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
109		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia clausii</i>				●		●										●
110		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia constricta</i>					●	●		●				●				●
111		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia dissipata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
112		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia filiformis</i>						●		●				●	●			●
113		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia fonticola</i>						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
114		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia inconspicua</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
115		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia levidensis</i> var. <i>salinarum</i>						●										●
116		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia linearis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
117		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia palea</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
118		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia paleacea</i>							●					●				●
119		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia scalpelliformis</i>						●										●
120		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia sinuata</i> var. <i>delognei</i>			●	●		●	●				●					●
121		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia vermicularis</i>						●	●	●								●
122		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia</i> spp.						●		●								●
123		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia braunii</i>																●
124		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia viridis</i>			●													●
125		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia</i> sp.			●	●			●	●								●
126		メガネケイソウ属	<i>Pleurosigma</i> sp.						●										●
127		ジグザグオオメダケイソウ属	<i>Pleurosira laevis</i>			●				●					●				●
128		マガリクサビケイソウ属	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
129		オオコバンケイソウ属	<i>Surirella angusta</i>		●		●			●					●				●
130		オオコバンケイソウ属	<i>Surirella ovalis</i>													●			●
131		オオコバンケイソウ属	<i>Surirella</i> sp.					●		●									●
132		オビケイソウ属	<i>Synedra pulchella</i>			●													●
133		ナガケイソウ属	<i>Synedra ulna</i>			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
134		ニセコマケイソウ属	<i>Thalassiosira</i> sp.																●
135		ウルナリア属	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
136		紅藻綱	カワモズク属のシヤントランシア期	chantransia-phase of <i>Batrachospermum</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
137			オオイソウ	<i>Compsopogon coeruleus</i>		●	●		○		○				●		○		●
138			ダンスイバニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>					○	○									●
139		褐藻綱	イズミイシノカワ	<i>Heribaudiella fluviatilis</i>					○										●
140		ミドリムシ藻綱	トラケロモナス属	<i>Trachelomonas</i> sp.				●											●
141		緑藻綱	シオグサ属	<i>Cladophora</i> sp.			○	○	●	●	●	●	○	●		●	●	○	●
142			トゲナシツルギ	<i>Cloniophora plumosa</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
143			ミクロスボラ属	<i>Microspora willeana</i>			●												●
144			モノラフィデウム属	<i>Monoraphidium fontinale</i>			●				●	●				●			●
145			サヤミドロ属	<i>Oedogonium</i> sp.			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
146			クンショウモ属	<i>Pediastrum boryanum</i>			●	●					●						●
147			ネダシグサ属	<i>Rhizoclonium</i> sp.						●	●				●	●	●	●	●
148			イカダモ属	<i>Scenedesmus</i> spp.			●	●			●				●				●
149			アオミドロ属	<i>Spirogyra</i> sp.			●								●				●
150			キヌミドロ属	<i>Stigeoclonium</i> sp.			●	●			●	●			●	●	●	●	●
151			ヨツメモ属	<i>Tetraspora</i> sp.											●				●
152			ヒビミドロ属	<i>Ulothrix</i> sp.															●
153			スジアオリ科	<i>Ulva prolifera</i>					●										●
154			カエトフオラ科	Chaetophoraceae gen sp.			●	●							●				●
種数				41	81	74	44	72	64	87	76	37	80	33	78	40	79	39	
調査地点数				3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1	

[水質評価]

表 19 水質評価をした地点数 (2014 年度冬季調査)

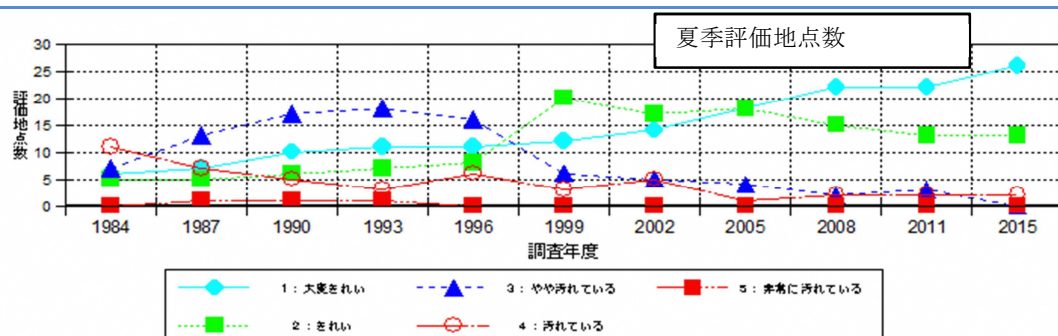
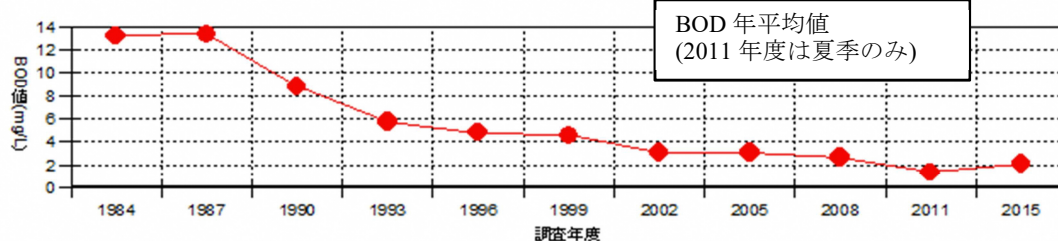
評価	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	ケ谷区	保土区	緑区	南区
大変きれい	1	2	3	3	3	2	1	3	1	2		5			3	
きれい	1	1			2	1	1	1		2			1	1	1	
やや汚れている	1															
汚れている											1					
非常に汚れている																
評価できない							1									
調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1	

表 20 水質評価をした地点数 (2015 年度夏季調査)

評価	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	ケ谷区	保土区	緑区	南区
大変きれい	1	3	3	3	3	2	1	3				5	1	2		
きれい	2				2	1	2	1	1	4				2		
やや汚れている																
汚れている											1					1
非常に汚れている																
評価できない																
調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1	

コラム 5 水質判定結果別の地点数の変化

上段が調査年度の夏冬のBOD平均値、下段が夏季の生物指標による水質判定の評価地点数を示しています。1984年(第4報)当時は、横浜市内の河川はひどく汚れていて、BOD平均値が12mg/L以上ありました。2015年のBOD平均値は2mg/Lと非常にきれいになりました。生物指標による水質判定結果もそれに追従するように、「汚れている」の地点数が減り「大変きれい」の地点数が多くなりました。



4.2 各区における結果概要

各区で確認された水生生物や水質などの結果の概要を、区ごとにまとめました。確認されたレッドリスト等掲載種と外来種のカテゴリー等、水質評価については、下記記号で表しました。

〔 レッドリスト等掲載種 〕

環境省の改訂レッドリスト（2015）と神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006（神奈川県 RDB）に掲載されているレッドリスト等掲載種のカテゴリーを下記の記号で表しました。

表 21 レッドリスト等掲載種の記号とカテゴリー

記号		カテゴリー	説明
環境省 RL	神奈川県 RDB		
★★★★★★	★★★★★★	絶滅危惧 IA 類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
★★★★★	★★★★★	絶滅危惧 IB 類	IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
★★★★	★★★★	絶滅危惧 II 類	絶滅の危険が増大している種
★★★	★★★	準絶滅危惧	存続基盤が脆弱な種
—	★★	要注意	分布がある程度以上把握されていて、生息地あるいは生息個体数が著しく減少している種
—	★	注目種	種の分布域が県内に固有または分布の限界になっていて、生息環境が脆弱で環境悪化すると絶滅が危惧されるもの
☆	☆	情報不足	評価するだけの情報が不足している種

※ 放流由来の個体を含む可能性がある種については、「※放流？」としています。

〔 外来種 〕

外来種は、国外外来種、国内外来種、品種を含みます。これらには、外来生物法で指定されている「特定外来生物」に該当するもの、環境省及び農林水産省が公表した「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（以下、「生態系被害防止外来種リスト」と表記）に含まれるものもあります。これら外来種について、下記の記号で表しました。また外来種かどうか、まだはっきりとしていないものについては、(?)として表記しました。

表 22 外来種の記号とカテゴリー等

記号	カテゴリー等	説明
×××××	国外外来種・特定外来生物	外来生物法により、飼養、栽培、保管及び運搬等することが原則禁止
××××	国外外来種・総合対策外来種	「生態系被害防止外来種リスト」の中で、総合的に対策が必要な外来種。優先度の考え方によって、「緊急対策外来種」、「重点対策外来種」および「その他の総合対策外来種」に区分される。
×××(?)	国外外来種(の可能性)	国外から人為的に持ち込まれた種（持ち込まれた可能性のある種）
××(?)	国内外来種(の可能性)	国内の他地域から持ち込まれた種（持ち込まれた可能性のある種）
×	品種	観賞用等の品種として改良された種

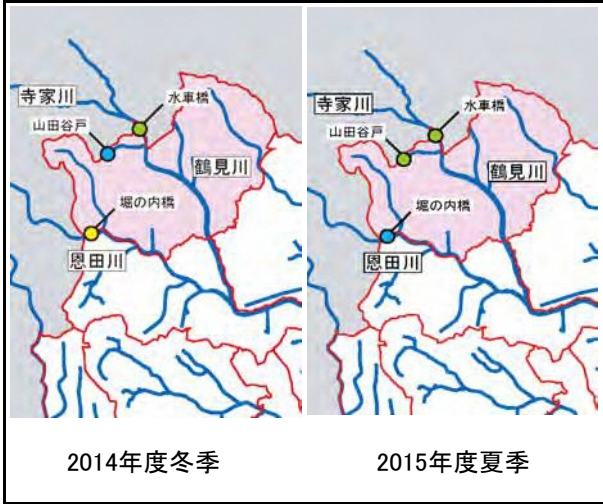
〔 水質評価 〕

各調査地点の水質評価を地図上に表しました。

表 23 水質評価の記号とカテゴリー

記号	水質評価	記号	水質評価
●	大変きれい	●	汚れている
●	きれい	●	大変汚れている
●	やや汚れている	●	評価できない

青葉区(鶴見川水系)で確認された水生生物



青葉区内の鶴見川水系の3地点で調査。魚類15種、底生動物65種、水草2種、抽水植物8種、付着藻類41種を確認。
魚類は確認種の約半数の8種が外来種であった。
2014年度冬季の寺家川は「大変きれい」、鶴見川は「きれい」、恩田川は「やや汚れている」。2015年度夏季の恩田川は「大変きれい」、寺家川と鶴見川は「きれい」。



寺家川 山田谷戸 恩田川 堀の内橋



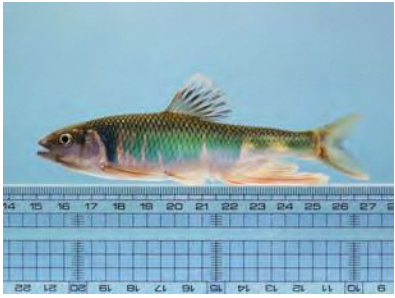
クロダハゼ



アメリカザリガニ ××××



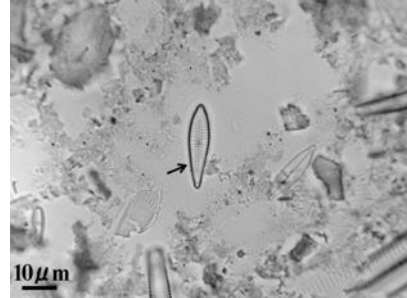
オオフサモ ×××××



オイカワ



ハグロトンボ ★★



クサビケイソウ属 (G. parvulum)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
ドジョウ	☆
ミナミメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★★
(外来種)	
イロゴイ	×
ファットヘッドミノー	×××
タモロコ	××
スゴモロコ類	××
カラドジョウ	××××
ヒメダカ	×
オオクチバス	×××××
カワヨシノボリ	××
(その他代表種)	
オイカワ	
モツゴ	
クロダハゼ	
計15種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
マルタニシ	★★★★★
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
アメリカツノズムシ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
カワニナ	
ミズムシ(甲殻類)	
スジエビ	
モクズガニ	
サホコカゲロウ	
アジアイトトンボ	
タイコウチ	
ナガレユスリカ属	
計65種	

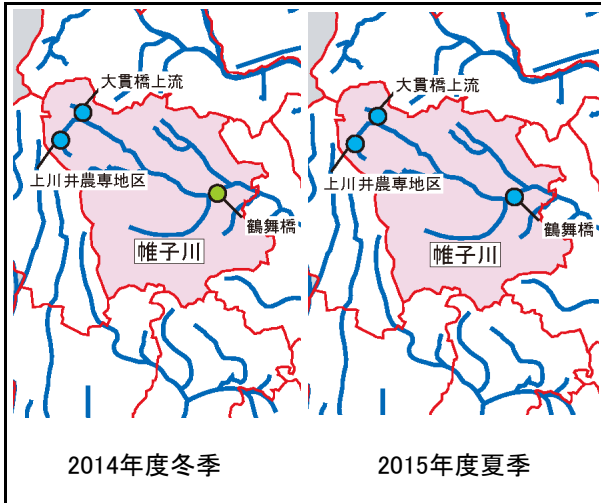
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオフサモ	×××××
オオカワヂシャ	×××××
(その他代表種)	
セリ	
セキショウ	
水草2種、抽水植物8種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
-	
(その他代表種)	
クサビケイソウ属	
(Gomphonema parvulum)	
ハリケイソウ属	(Nitzschia palea)
フネケイソウ属	(Navicula gregaria)
クセノコックス属	(Xenococcus sp.)
計41種	

☆★印と×印の凡例は表21と表22(p28)を参照のこと

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
植物は、水草と抽水植物を対象

旭区(帷子川水系)で確認された水生生物



旭区内の帷子川水系3地点で調査。魚類15種、底生動物66種、水草2種、抽水植物3種、付着藻類81種を確認。
 源流域では、ホトケドジョウが多数みられた。鶴舞橋の地点では、回遊魚のアユがみられた。
 源流域の2地点は「大変きれい」。鶴舞橋の地点は、2014年度冬季は「きれい」、2015年度夏季は「大変きれい」。



帷子川 大貫橋上流

帷子川 鶴舞橋



ホトケドジョウ ★★★★★★★★★★



アメリカツノウズムシ ×××



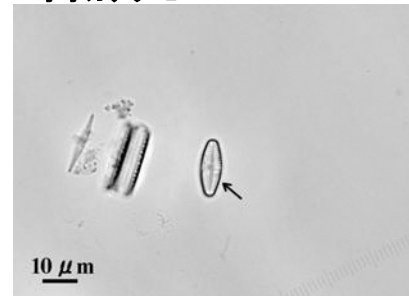
オオカナダモ ××××



アユ



カワリヌマエビ属 ×××(?)



マグリケイソウ属 (A. lanceolata)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
コイ※放流?	☆
ウグイ	★★★★
ドジョウ	☆
ヒガシシマドジョウ	★★★★
ホトケドジョウ	★★★★★★
ギバチ	★★★★★★
アユ	★★★★★★
(外来種)	
タモロコ	××
ギバチ	××?
(その他代表種)	
ギンブナ	
オイカワ	
モツゴ	
アユ	
クロダハゼ	
トウヨシノボリ類	
ヌマチチブ	
計15種	

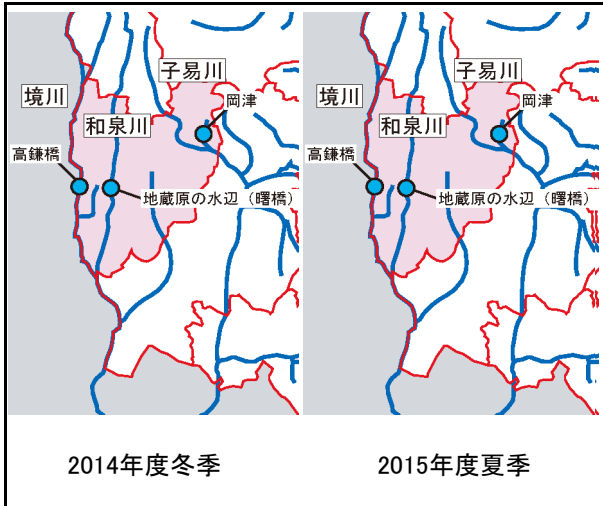
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキミズマイマイ	☆
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
アメリカツノウズムシ	×××
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ミズムシ(甲殻類)	
ヌカエビ	
スジエビ	
シロハラコカゲロウ	
オニヤンマ	
シオカラトンボ	
ヒメビケラ属	
ハモンユスリカ属	
計66種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオカナダモ	××××
(その他代表種)	
クサヨシ	
ヨシ	
ヒメガマ	
水草2種、抽水植物3種	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★
(その他代表種)	
マグリケイソウ属(Achnanthes lanceolata)	
ハリケイソウ属(Nitzschia dissipata)	
マグリケイソウ属	
(Achnanthes minutissima)	
マグリケイソウ属(Achnanthes japonica)	
計81種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

泉区(境川水系)で確認された水生生物



泉区内の境川水系3地点で調査。魚類13種、底生動物68種、水草1種、抽水植物9種、付着藻類74種を確認。
 純淡水魚のアブラハヤなどのほか、回遊魚のアユ、シマヨシノボリ、オオヨシノボリ、トウヨシノボリ類などが確認された。これらの回遊魚は、流れが速く、川底が礫の環境で見られる。
 水質評価は、2014年度冬季、2015年度夏季に、3地点とも「大変きれい」。



和泉川 地蔵原の水辺



境川 高鎌橋



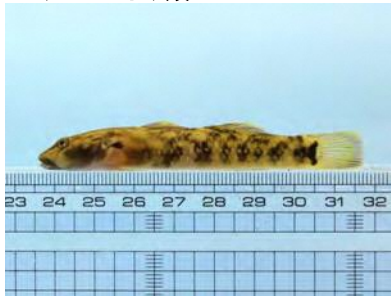
トウヨシノボリ類



ヒラテテナガエビ



オオカワヂシャ ×××××



オオヨシノボリ



サカマキガイ ×××



ハリケイソウ属 (*Nitzschia amphibia*)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
ウグイ	★★★★
ドジョウ	☆
ミナメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★★
オオヨシノボリ	★★★★
(外来種)	
カワムツ	××
タモロコ	××
(その他代表種)	
オイカワ	
モツゴ	
アユ	
シマヨシノボリ	
トウヨシノボリ類	
計13種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキミズマイマイ	☆
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
アメリカツノズムシ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ヒラテテナガエビ	
スジエビ	
モクズガニ	
サワガニ	
シロハラコカゲロウ	
シオカラトンボ	
ヤマトヒメユスリカ族	
ナガレツヤユスリカ属	
計68種	

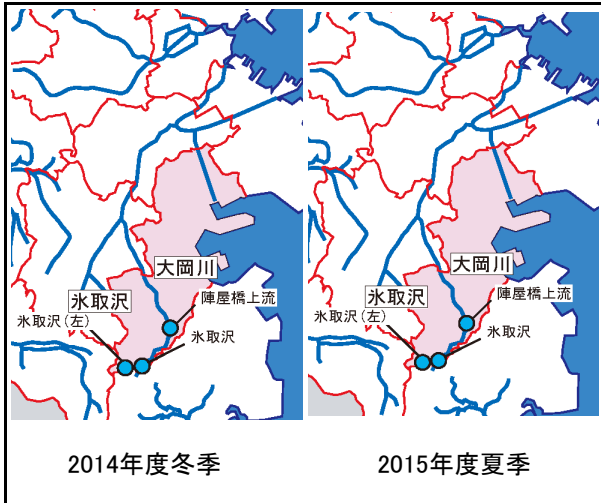
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオカワヂシャ	×××××
キシヨウブ	××××
キシユウスズメノヒエ	××××
(その他代表種)	
アオウキクサ	
ツルヨシ	
水草1種、抽水植物9種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 (<i>Nitzschia amphibia</i>)	
クサビケイソウ属(<i>Gomphonema parvulum</i>)	
フネケイソウ属 (<i>Navicula gregaria</i>)	
マガリケイソウ属(<i>Achnanthes subhudsonis</i>)	
計74種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

磯子区(大岡川水系)で確認された水生生物



磯子区内の大岡川水系(源上流) 3地点で調査。魚類7種、底生動物91種、水草1種、抽水植物5種、付着藻類44種を確認。
 タカハヤ、ナマズは、本来大岡川には分布しない国内外来種である。アブラハヤ、ホトケドジョウ、ヒガシシマドジョウなど、源流・上流域に生息する種が確認された。
 水質評価は、2014年度冬季、2015年度夏季ともに、全地点で「大変きれい」。



大岡川 水取沢



大岡川 陣屋橋上流



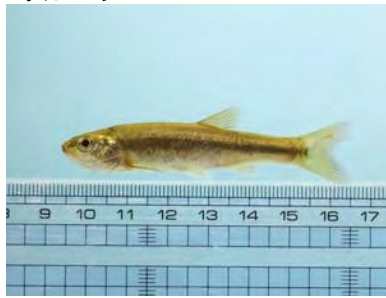
タカハヤ ★★★★★××



ヤマサナエ ★★



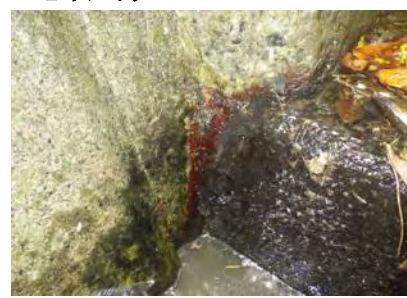
セキショウ



アブラハヤ ★★★



オオアメンボ ★★★



タンスイベニマダラ ★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
アブラハヤ	★★★
タカハヤ	★★★★★
ヒガシシマドジョウ	★★★★
ホトケドジョウ	★★★★★
ナマズ	★★★★★
スミウキゴリ	★★★
(外来種)	
タカハヤ	××
ナマズ	××
(その他代表種)	
オイカワ	
計7種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
ヤマサナエ	★★
コシボソヤンマ	★★
ミルンヤンマ	★★
コヤマトンボ	★★★
オオアメンボ	★★★
(外来種)	
アメリカツノズムシ	×××
コモチカワツボ	××××
ウスイロオカチグサ	××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマズヨコエビ	××××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ナミズムシ	
ヌカエビ	
ゲンジボタル(幼虫)	
計91種	

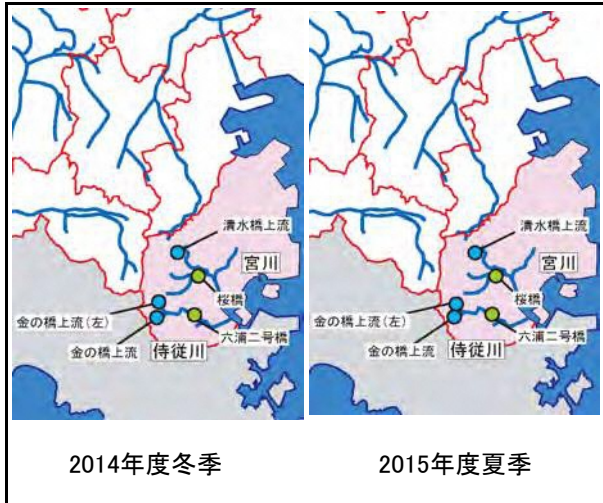
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
オランダガラシ	××××
キショウブ	××××
(その他代表種)	
クサヨシ	
セキショウ	
カサスゲ	
水草1種、抽水植物5種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
タンスイベニマダラ	★★★
(その他代表種)	
マガリケイソウ属 (<i>Achnanthes lanceolata</i>)	
ハリケイソウ属 (<i>Nitzschia dissipata</i>)	
コバンケイソウ属 (<i>Cocconeis placentula</i> var.)	
マガリクサビケイソウ属 (<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>)	
フネケイソウ属 (<i>Navicula tripunctata</i>)	
計44種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28)を参照のこと

金沢区(宮川水系・侍従川水系)で確認された水生生物



金沢区内の宮川水系2地点、侍従川水系3地点で調査。魚類13種、底生動物92種、水草2種、抽水植物3種、付着藻類72種を確認。
 回遊魚や汽水に生息する魚類が多く確認された。源・上流域まで回遊魚のスマウキゴリが遡上していた。
 水質評価は、2014年度冬季、2015年度夏季ともに、源・上流域の3地点は「大変きれい」。感潮域の2地点(六浦二号橋、桜橋)は「きれい」。



宮川 清水橋上流



侍従川 六浦二号橋



スマウキゴリ ★★★



カタツムリトビケラ



セリ



ウロハゼ ★



コモチカワツボ ××××



イズミイシノカワ ★★★★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
マルタ	★★★★★
ドジョウ	★
ミナメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★★
スマウキゴリ	★★★★
ウロハゼ	★
(外来種)	
カダヤシ	×××××
(その他代表種)	
モツゴ	
ボラ	
ビリンゴ	
マハゼ	
ヒナハゼ	
アベハゼ	
チチブ	
計13種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヤマサナエ	★★
コシボソヤンマ	★★
ミルシヤンマ	★★
(外来種)	
コモチカワツボ	××××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
コウロエンカワヒバリガイ	××××
アメリカフジツボ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
アメリカザリガニ	××××
チチュウカイミドリガニ	××××
(その他代表種)	
カワニナ	
ヌマエビ	
ヌカエビ	
ユビナガスジエビ	
スジエビモドキ	
サワガニ	
ゲンジボタル(幼虫)	
計92種	

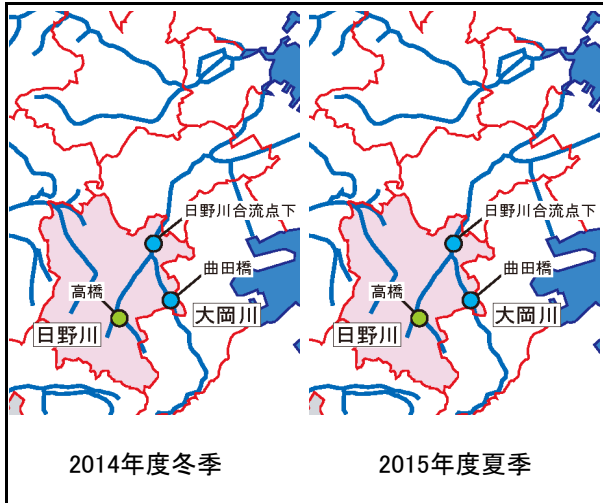
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
オランダガラシ	××××
(その他代表種)	
エビモ	
セリ	
ツルヨシ	
セキショウ	
水草2種、抽水植物3種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイソウ	★★★★★
タンスイパニマダラ	★★★★
イズミイシノカワ	★★★★★★
(その他代表種)	
マガリクサビケイソウ属 (<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>)	
フネケイソウ属 (<i>Navicula gregaria</i>)	
フネケイソウ属 (<i>Navicula margalithii</i>)	
計72種	

☆★印と×印の凡例は表21と表22(p28)を参照のこと

(平成26年12~27年2月, 8~10月) 植物は、水草と抽水植物を対象

港南区(大岡川水系)で確認された水生生物



港南区内の大岡川水系3地点で調査。魚類17種、底生動物63種、水草3種、抽水植物4種、付着藻類64種を確認。

アブラハヤなどの純淡水魚とアユなどの回遊魚が確認された。また汽水域に生息するボラ、マハゼが侵入していた。

水質評価は、2014年度冬季、2015年度夏季ともに、日野川は「きれい」。大岡川は「大変きれい」。



日野川 高橋



大岡川 日野川合流点下



ウキゴリ



コシボソヤンマ ★★



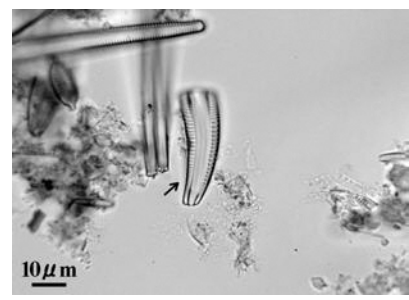
エビモ



スミウキゴリ ★★★



ウスイロオカチグサ ××



マガリクサビケイトウ属 (R. abbreviata)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
タカハヤ	★★★★★
マルタ	★★★★
ドジョウ	☆
ヒガシシマドジョウ	★★★★
ミナミメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(外来種)	
キンギョ	×
タカハヤ	××
(その他代表種)	
オイカワ	
アユ	
ボラ	
ウキゴリ	
マハゼ	
シマヨシノボリ	
計17種	

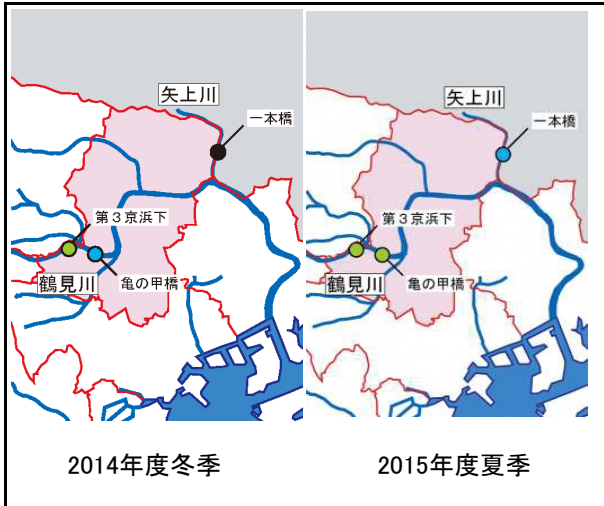
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★★★
コシボソヤンマ	★★★★
コヤマトンボ	★★★★
(外来種)	
アメリカツノウズムシ	×××
アメリカナミウズムシ	×××
コモチカワトンボ	××××
ウスイロオカチグサ	××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
台湾シジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
(その他代表種)	
カワニナ	
ミズレヌマエビ	
ヌカエビ	
フタモンコカゲロウ	
アメンボ	
ウスバキトンボ	
計63種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
コカナダモ	××××
ウチワゼニクサ	××××
(その他代表種)	
エビモ	
アイノコイトモ	
セリ	
クサヨシ	
セキショウ	
水草3種、抽水植物4種	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
-	
(その他代表種)	
マガリクサビケイトウ属 (Rhoicosphenia abbreviata)	
ニセクチビルケイトウ属 (Amphora pediculus)	
コバンケイトウ属 (Cocconeis placentula var.)	
計64種	

☆★印と×印の凡例は表21と表22(p28)を参照のこと

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
植物は、水草と抽水植物を対象

港北区(鶴見川水系)で確認された水生生物



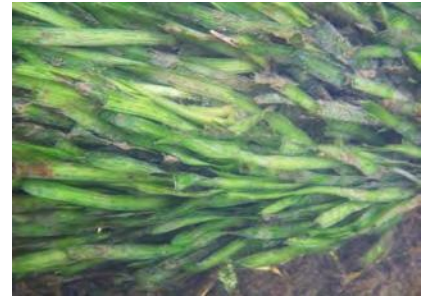
港北区内の鶴見川水系3地点で調査。魚類は19種、底生動物は58種、水草は3種、抽水植物3種、付着藻類87種を確認。
 オイカワなどの純淡水魚、マルタなどの回遊魚、マハゼなどの汽水に生息する魚類が確認された。
 水質評価は、2014年度冬季の鶴見川は「きれい」と「大変きれい」、矢上川は「評価できない」。2015年度夏季は鶴見川の2地点は「きれい」、矢上川は「大変きれい」。



ニホンウナギ ★★★★★



アメリカナミウズムシ ×××



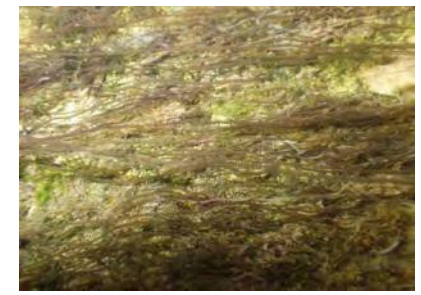
セキショウモ ★★★★★



マルタ ★★★★★



シオカラトンボ



オオイシソウ ★★★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ニホンウナギ	★★★★★
コイ ※放流?	☆
マルタ	★★★★★
ウグイ	★★★★
カマツカ	★★★★
ミナメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(外来種)	
イトモロコ	××
スゴモロコ類	××
カダヤシ	×××××
オオクチバス	×××××
(その他代表種)	
オイカワ	
ボラ	
マハゼ	
アベハゼ	
ヌマチチブ	
計19種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキミズマイマイ	☆
(外来種)	
アメリカツノウズムシ	×××
アメリカナミウズムシ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
カワリスマエビ属	×××(?)
(その他代表種)	
ミズレヌマエビ	
テナガエビ	
クロベンケイガニ	
モクスガニ	
オナガサナエ	
コオニヤンマ	
シオカラトンボ	
ヒメトビケラ属	
ハモンユスリカ属	
計58種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
セキショウモ	★★★★★
(外来種)	
コゴメイ	××××
(その他代表種)	
ヤナギモ	
アイノコイトモ	
ツルヨシ	
ヒメガマ	
水草3種、抽水植物3種	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★
(その他代表種)	
マガリケイソウ属 (Achnanthes lanceolata)	
ハリケイソウ属 (Nitzschia amphibia)	
フネケイソウ属 (Navicula minima)	
チャツツケイソウ属 (Melosira varians)	
フネケイソウ属 (Navicula gregaria)	
計87種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

栄区(境川水系)で確認された水生生物



栄区内の境川水系(源上流～中下流)4地点で調査。魚類20種、底生動物112種、水草1種、抽水植物9種、付着藻類76種を確認。
 アブラハヤなどの純淡水魚とアユなどの回遊魚が主に確認されたが、汽水域に生息するボラやマハゼが侵入していた。
 水質評価は、2014年度冬季、2015年度夏季ともに、上流側のいたち川と稲荷川、S水再生センター下流は「大変きれい」、下流の鷹匠橋は「きれい」。



稲荷川 杉之木橋上流 柏尾川 鷹匠橋



ニホンウナギ ★★★★★



キヨスミナガレトビケラ



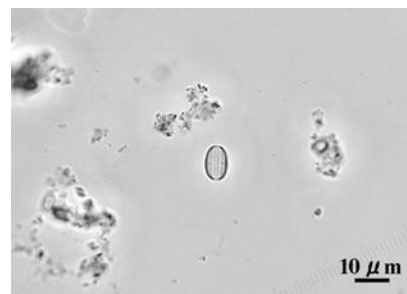
ミズキンバイ ★★★★★★★★★★



カワアナゴ ★★★★★



ミルンヤンマ ★★



ニセキチビルケイソウ属 (A. pediculus)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ニホンウナギ	★★★★★
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
マルタ	★★★★
ドジョウ	☆
ミナメダカ	★★★★
※放流?	★★★★★★
カワアナゴ	★★★★★
スミウキゴリ	★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
(外来種)	
イロゴイ	×
カダヤシ	×××××
グッピー	××××
オオクチバス	×××××
(その他代表種)	
アユ	
ボラ	
マハゼ	
計20種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
マシジミ	★★★★★
ハグロトンボ	★★
ヤマサナエ	★★
コシボソヤンマ	★★
ミルンヤンマ	★★
コヤマトンボ	★★★
(外来種)	
アメリカツノウズムシ	×××
アメリカナミウズムシ	×××
コモチカワツボ	××××
ウスイロオカチグサ	××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
インドヒラマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
カワリスマエビ属	×××(?)
アメリカザリガニ	××××
計112種	

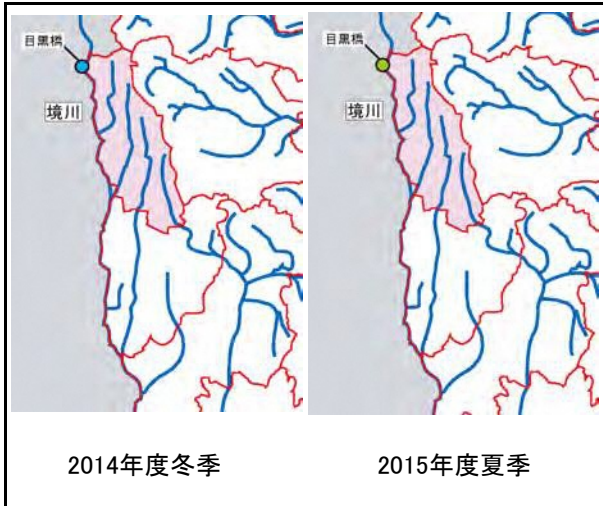
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
ミズキンバイ	★★★★★
(外来種)	
オランダガラシ	××××
コゴメイ	××××
キシウスズメノヒエ	××××
(その他代表種)	
ヨシ	
水草1種、抽水植物9種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
(その他代表種)	
クサビケイソウ属 (Gomphonema parvulum)	
ニセキチビルケイソウ属 (Amphora pediculus)	
フネケイソウ属 (Navicula minima)	
ハリケイソウ属 (Nitzschia amphibia)	
フネケイソウ属 (Navicula veneta)	
計76種	

(平成26年12～27年2月, 8～10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

瀬谷区(境川水系)で確認された水生生物



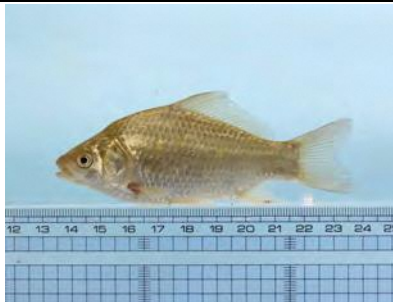
瀬谷区内の境川水系1地点で調査。魚類9種、底生動物45種、水草2種、抽水植物3種、付着藻類37種を確認。
 おもに純淡水魚のコイやオイカワなどが確認された。また回遊魚のオオヨシノボリは、流れの速い石の下でみられた。魚類の種数は少ない。
 水質評価は、2014年度冬季は「大変きれい」、2015年度夏季は「きれい」。



境川 目黒橋



コイ ☆



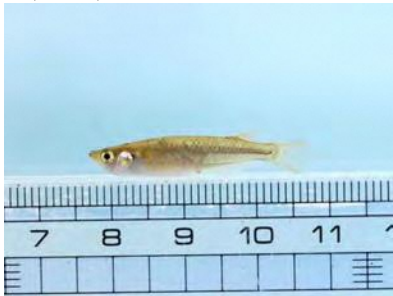
ギンブナ



オナガサナエ



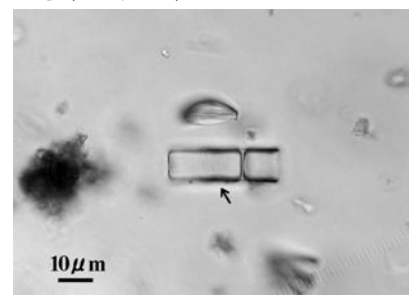
オランダガラシ ××××



ミナミメダカ ★★★★★★★★★★



ウデマガリコカゲロウ



チャツツケイソウ属 (M. varians)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
コイ ※放流?	☆
ドジョウ	☆
ミナミメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★★
オオヨシノボリ	★★★★
(外来種)	
タモロコ	××
グッピー	××××
ヒメダカ	×
(その他代表種)	
ギンブナ	
オイカワ	
計9種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
アメリカツノウスムシ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
(その他代表種)	
モクスガニ	
ウデマガリコカゲロウ	
オナガサナエ	
コオニヤンマ	
アメンボ	
ウルマーシマトビケラ	
ハダカエリユスリカ属	
ナガレツヤユスリカ属	
ハモンユスリカ属	
計45種	

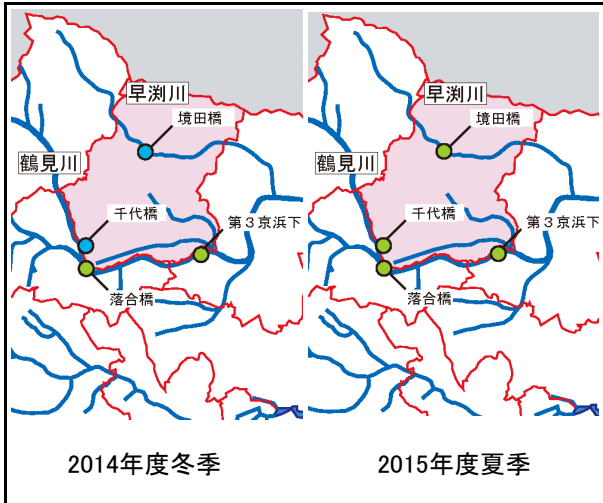
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオカナダモ	××××
オオカワヂシャ	××××
(その他代表種)	
セリ	
ツルヨシ	
水草2種、抽水植物3種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
(その他代表種)	
チャツツケイソウ属 (Melosira varians)	
ハリケイソウ属 (Nitzschia palea)	
コバンケイソウ属 (Cocconeis placentula var.)	
クチビルケイソウ属 (Cymbella sinuata)	
ハリケイソウ属 (Nitzschia inconspicua)	
計37種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

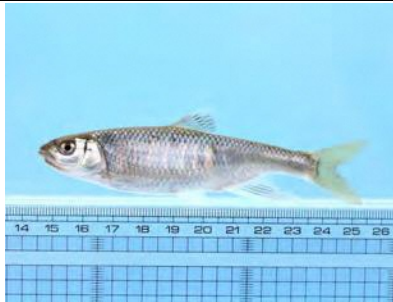
都筑区(鶴見川水系)で確認された水生生物



都筑区内の鶴見川水系4地点で調査。魚類22種、底生動物68種、水草6種、抽水植物11種、付着藻類80種を確認。
 カマツカなどの純淡水魚とアユなどの回遊魚が主に確認された。そのほか、マハゼなど汽水に生息する魚類が侵入していた。
 水質評価は、2014年度冬季は早瀬川と鶴見川の千代橋は「大変きれい」、鶴見川の他の2地点は「きれい」。2015年度夏季は4地点とも「きれい」。



早瀬川 境田橋 鶴見川 第三京浜下



オイカワ



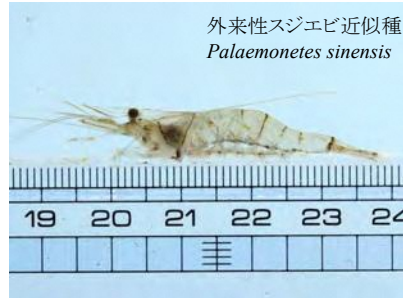
スジエビ



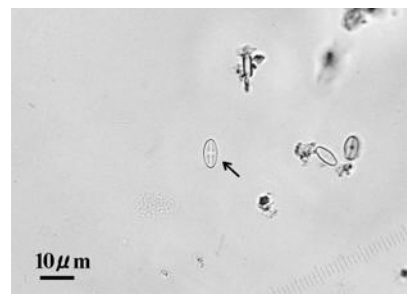
オオカワヂシャ ×××××



カワムツ ××



Palaemonetes sinensis ×××



フネケイソウ属 (*Navicula minima*)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ニホシウナギ	★★★★★
コイ ※放流?	☆
マルタ	★★★★
カマツカ	★★★
ドジョウ	☆
ミナメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★★
スミウキゴリ	★★★
(外来種)	
イロゴイ	×
カワムツ	××
タモロコ	××
イトモロコ	××
スゴモロコ類	××
カダヤシ	×××××
カワヨシノボリ	××
(その他代表種)	
アユ	
ボラ	
計22種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキミズマイマイ	☆
ハグロトンボ	★★
コヤマトンボ	★★★
(外来種)	
アメリカツノウズムシ	×××
アメリカナミウズムシ	×××
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
外来性スジエビ近似種	×××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ミズレスマエビ	
テナガエビ	
スジエビ	
モクズガニ	
ウデマグリコカゲロウ	
アジアイトトンボ	
計68種	

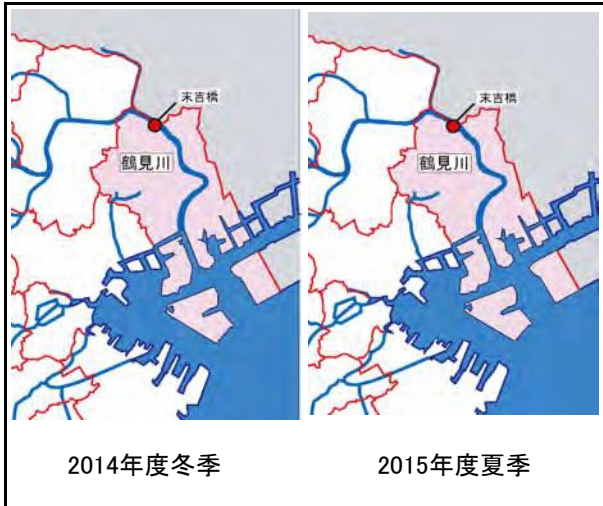
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
セキショウモ	★★★★★
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオフサモ	×××××
オオカナダモ	××××
オオカワヂシャ	×××××
ウチワゼニクサ	××××
コゴメイ	××××
水草6種、抽水植物11種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★
(その他代表種)	
クサビケイソウ属	
(<i>Gomphonema parvulum</i>)	
ハリケイソウ属 (<i>Nitzschia amphibia</i>)	
マグリケイソウ属 (<i>Achnanthes lanceolata</i>)	
フネケイソウ属 (<i>Navicula minima</i>)	
計80種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

鶴見区(鶴見川水系)で確認された水生生物



鶴見区内の鶴見川水系1地点で調査。魚類13種、底生動物20種、付着藻類33種を確認。水草と抽水植物は確認されなかった。
 回遊魚のニホンウナギ、マルタなどの他、汽水に生息するスズキなど、淡水魚であまり流れがないところを好むコイやオオクチバスなどが確認された。
 水質評価は、2014年度冬季、2015年度夏季ともに、「汚れている」。



鶴見川 末吉橋



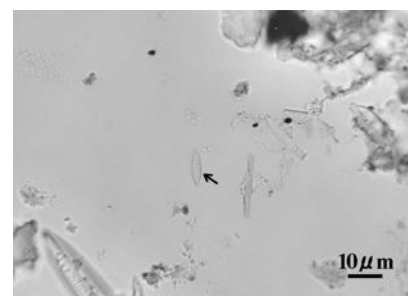
ニホンウナギ ★★★★★



ボラ



イガイダマシ ××××



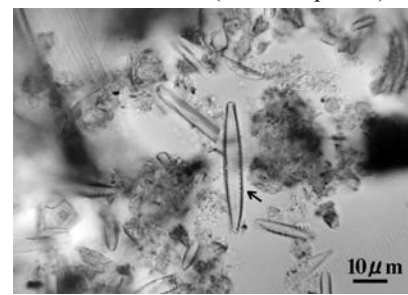
ハリケイソウ属 (*N. inconspicua*)



アベハゼ



テナガエビ



ハリケイソウ属 (*N. filiformis*)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ニホンウナギ	★★★★★
コイ ※放流?	★
マルタ	★★★★
スミウキゴリ	★★★
(外来種)	
ブルーギル	×××××
オオクチバス	×××××
(その他代表種)	
クロダイ	
ボラ	
マハゼ	
ヒナハゼ	
アベハゼ	
ヌマチチブ	
チチブ	
計13種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヤマトシジミ	★★★
(外来種)	
イガイダマシ	××××
ヨーロッパフジツボ	××××
(その他代表種)	
イトミミズ亜科	
テナガエビ	
クロベンケイガニ	
モクズガニ	
シオカラトンボ	
ハモンユスリカ属	
計20種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
-	
(その他代表種)	
-	
計0種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
-	
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 (<i>Nitzschia inconspicua</i>)	
ニセクチビルケイソウ属 (<i>Amphora coffeaeformis</i>)	
フネケイソウ属 (<i>Navicula gregaria</i>)	
ハリケイソウ属 (<i>Nitzschia filiformis</i>)	
計33種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
 植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

戸塚区(境川水系)で確認された水生生物



戸塚区内の境川水系5地点で調査。魚類は26種、底生動物106種、水草2種、抽水植物12種、付着藻類78種を確認。
源流から中・下流域まで環境が幅広く、多様な魚類が確認された。
水質評価は、2014年度冬季、2015年度夏季ともに、全地点で「大変きれい」。



境川 遊水地橋 S水再生センター下流



ゴクラクハゼ ★★★



モノアラガイ科 ×××(?)



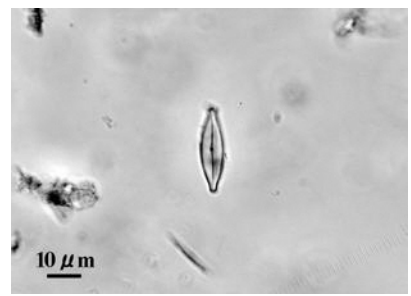
ミズキンバイ ★★★★★★★★★★



シマヨシノボリ



インドヒラマキガイ ×××



フネケイソウ属 (Navicula gregaria)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ニホンウナギ	★★★★★
コイ ※放流?	★
アブラハヤ	★★★★
マルタ	★★★★★
ドジョウ	☆
ホトケドジョウ	★★★★★
ミナミメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★
カワアナゴ	★★★★★
ボウズハゼ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★ 等
(外来種)	
イロゴイ	×
カワムツ	××
タモロコ	××
ナマズ	××
カダヤシ	×××××
グッピー	××××
計26種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキミズマイマイ	☆
ハグロトンボ	★★
ヤマサナエ	★★
コシボソヤンマ	★★
(外来種)	
アメリカツノウズムシ	×××
アメリカナミウズムシ	×××
ウスイロオカチグサ	××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
インドヒラマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダミズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ヒラテテナガエビ	
フタモンコカゲロウ	
コガタシマトビケラ	
計106種	

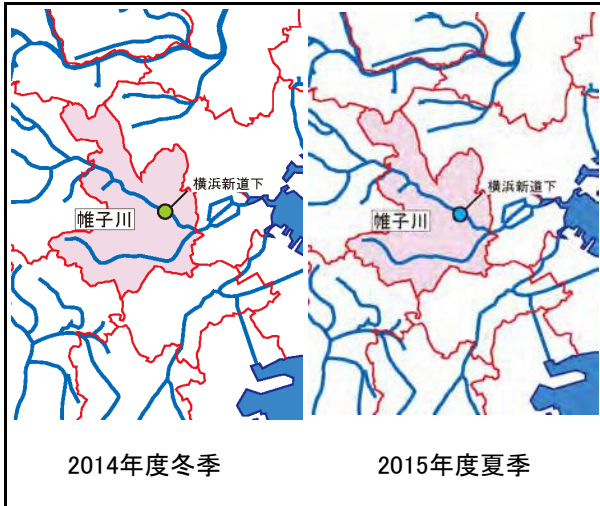
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
ミズキンバイ	★★★★★
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオカナダモ	××××
キショウブ	××××
キシウウスズメノヒエ	××××
(その他代表種)	
セリ	
水草2種、抽水植物12種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 (Nitzschia amphibia)	
フネケイソウ属 (Navicula minima)	
ニセクチビルケイソウ属 (Amphora pediculus)	
フネケイソウ属 (Navicula gregaria)	
計78種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

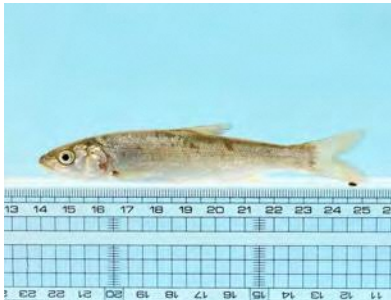
保土ヶ谷区(帷子川水系)で確認された水生生物



保土ヶ谷区内の帷子川水系1地点で調査。魚類14種、底生動物40種、水草1種、抽水植物8種、付着藻類40種を確認。
感潮域上端の区域にあたり、主に回遊魚と汽水に生息する種が確認された。回遊魚はマルタやアユの他、ゴクラクハゼやシマヨシノボリなどハゼの仲間が確認された。
水質評価は、2014年度冬季は「きれい」。2015年度夏季は「大変きれい」。



帷子川 横浜新道下



マルタ ★★★★★



モクズガニ



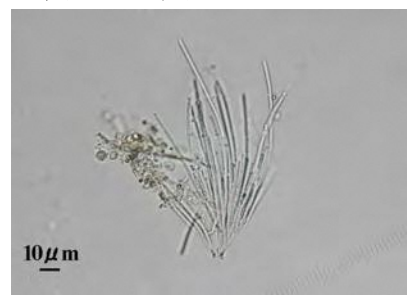
ウチワゼニクサ ××××



ウガイ ★★★★★



サホコカゲロウ



ピロウドランソウ (H. janthina)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
コイ※放流?	☆
マルタ	★★★★★
ウガイ	★★★★
ドジョウ	☆
スミウキゴリ	★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
(外来種)	
—	—
(その他代表種)	
オイカワ	
アユ	
ボラ	
ウキゴリ	
ビリンゴ	
マハゼ	
シマヨシノボリ	
ヌマチチブ	
計14種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
ヤマサナエ	★★
(外来種)	
アメリカツノウスムシ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××(?)
(その他代表種)	
ミゾレヌマエビ	
モクズガニ	
フタモンコカゲロウ	
ウデマガリコカゲロウ	
アメンボ	
ウルマーシマトビケラ	
ヤマトヒメユスリカ族	
ハモンユスリカ属	
計40種	

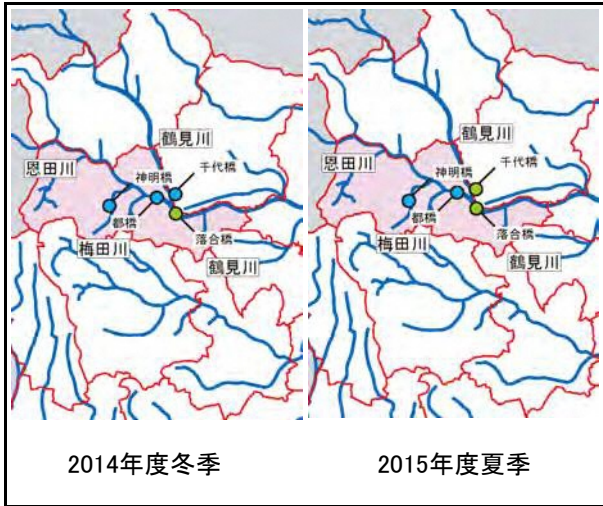
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	—
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオカワヂシャ	×××××
ウチワゼニクサ	××××
キシウブ	××××
(その他代表種)	
ヨシ	
ヒメガマ	
水草1種、抽水植物8種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
—	—
(その他代表種)	
ピロウドランソウ (Homoeothrix janthina)	
マガリクサビケイソウ属	
(Rhoicosphenia abbreviata)	
マガリケイソウ属 (Achnanthes minutissima)	
計40種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

緑区(鶴見川水系)で確認された水生生物



緑区内の鶴見川水系の4地点で調査。魚類19種、底生動物80種、水草6種、抽水植物13種、付着藻類79種を確認。
主に純淡水魚が確認されたが、回遊魚のアユが遡上していた。
水質評価は、恩田川、梅田川の2地点は「大変きれい」。鶴見川の落合橋地点は「きれい」。千代橋地点は2014年度冬季は「大変きれい」、2015年夏季は「きれい」。



梅田川 神明橋



鶴見川 落合橋



ヒガシシマドジョウ ★★★



タイワンシジミ ××××



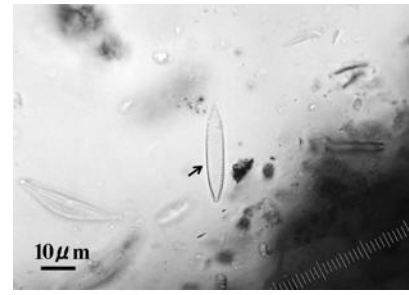
オオカワヂシャ ×××××



カワヨシノボリ ××



フロリダミズヨコエビ ××××



ハリケイソウ属 (Nitzschia palea)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
カマツカ	★★★★
ドジョウ	☆
ヒガシシマドジョウ	★★★★
ホトケドジョウ	★★★★★
ミナミメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★
(外来種)	
イロゴイ	×
カワムツ	××
タモロコ	××
イトモロコ	××
ナマズ	××
カダヤシ	×××××
カワヨシノボリ	××
(その他代表種)	
アユ	
計19種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキミズマイマイ	☆
ハグロトンボ	★★
ヤマサナエ	★★
(外来種)	
アメリカツノウズムシ	×××
アメリカナミウズムシ	×××
コモチカワツボ	××××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダミズヨコエビ	××××
カワリスマエビ属	×××(?)
外来性スジエビ近似種	×××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
スジエビ	
モクズガニ	
ウデマガリコカゲロウ	
コガタシマトビケラ	
計80種	

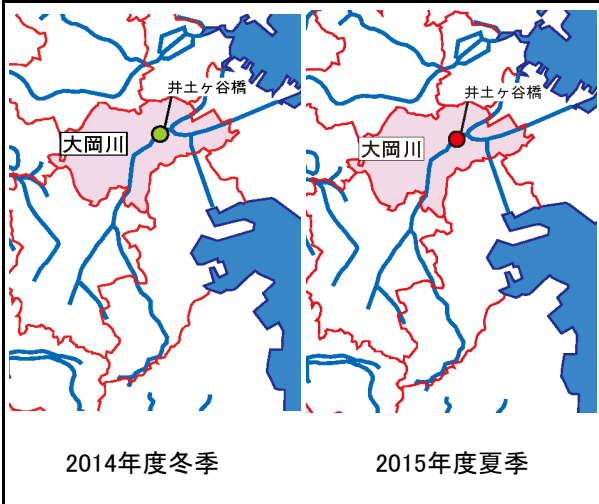
水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
セキショウモ	★★★★★
(外来種)	
オランダガラシ	××××
オオフサモ	×××××
オオカナダモ	××××
オオカワヂシャ	×××××
キショウブ	××××
コゴメイ	××××
キシウスズメノヒエ	××××
水草6種、抽水植物13種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイソウ	★★★★
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 (Nitzschia palea)	
フネケイソウ属 (Navicula minima)	
クサビケイソウ属 (Gomphonema parvulum)	
ハリケイソウ属 (Nitzschia amphibia)	
計79種	

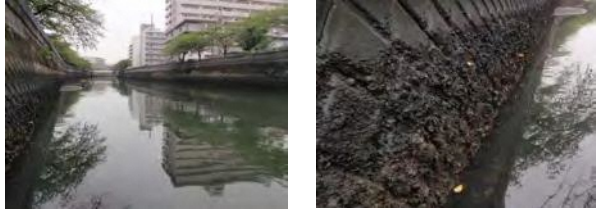
(平成26年12~27年2月, 8~10月)
植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと

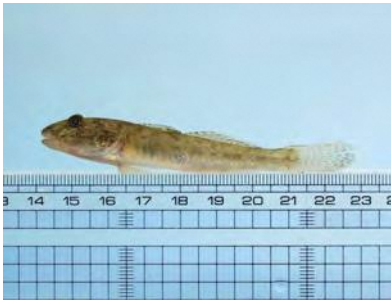
南区(大岡川水系)で確認された水生生物



南区内の大岡川水系1地点で調査。魚類10種、底生動物17種、付着藻類39種を確認。水草、抽水植物は確認されなかった。
汽水に生息するマハゼなどの種が主に確認されたほか、回遊魚のヌマチチブ、上流から流されてきたものと考えられる純淡水魚のミナミメダカが確認された。
水質評価は、2014年度冬季は「きれい」。2015年度夏季は「汚れている」。



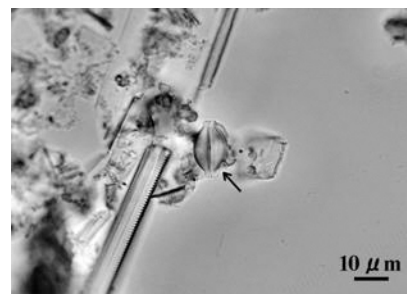
大岡川 井土ヶ谷橋 コウロエンカワヒバリガイが多数付着



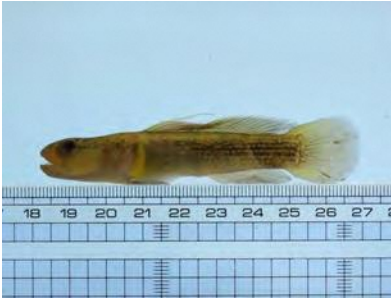
マハゼ



コウロエンカワヒバリガイ ××××



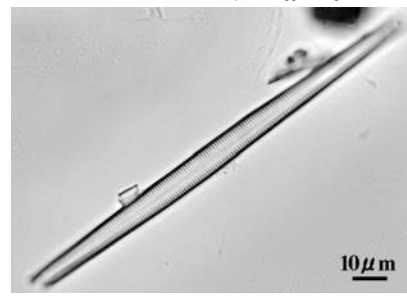
ニセクチビルケイソウ属 (*A. coffeaeformis*)



チチブ



ニッポンドロソコエビ



オビケイソウ属 (*F. fasciculata*)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ミナミメダカ	★★★★★
※放流?	★★★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(外来種)	
—	
(その他代表種)	
ボラ	
ドロメ	
ビリンゴ	
マハゼ	
ヒナハゼ	
アベハゼ	
ヌマチチブ	
チチブ	
計10種	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
ムラサキイガイ	××××
コウロエンカワヒバリガイ	××××
イガイダマシ	××××
アメリカフジツボ	××××
(その他代表種)	
タデジマイソギンチャク	
マガキ	
ドロクダムシ属	
ニッポンドロソコエビ	
シラタエビ	
ユビナガスジエビ	
計17種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
—	
(その他代表種)	
—	
計0種	

付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
—	
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 (<i>Nitzschia inconspicua</i>)	
ニセクチビルケイソウ属	
(<i>Amphora coffeaeformis</i>)	
オビケイソウ属 (<i>Fragilaria fasciculata</i>)	
ニセクチビルケイソウ属 (<i>Amphora</i> spp.)	
計39種	

(平成26年12~27年2月, 8~10月)
植物は、水草と抽水植物を対象

☆★印と×印の凡例は表21と表22 (p28) を参照のこと